

# 年 次 報 告



2024

一般社団法人四日市青年会議所



◎一般社団法人四日市青年会議所2024年度スローガン

青年よ大志を抱け!!  
～最高の笑顔を創り出そう～

2024年度  
第70代理事長  
石川 史織

---

◎公益社団法人日本青年会議所 2024年度スローガン

Be the Leader  
未来の笑顔のために

◎公益社団法人日本青年会議所東海地区協議会 2024年度基本理念  
支え合いから高め合う力へ  
笑顔あふれる東海の創造

◎公益社団法人日本青年会議所東海地区三重ブロック協議会 2024年度スローガン  
愛する三重のため、共に歩もう



直前理事長  
野呂京志



副理事長  
萩広光



副理事長  
藤谷竜大



専務理事  
田中俊太郎



監事  
伊藤尚貴



監事  
稲垣雄介



雨港曾長  
黃宇新

目 次

- ・ 理事長報告 . . . . . 6
- ・ 2024年度理事長公職 . . . . . 7
- ・ 副理事長、専務理事、監事報告 . . . . . 8
- ・ 総会並びに理事会報告 . . . . . 14
- ・ 事業日程 . . . . . 18
- ・ 委員会報告 . . . . . 24
- ・ 日本JC・東海地区・三重ブロック派遣報告 . . . . . 45
- ・ 例会出欠率 . . . . . 52
- ・ 2024年度決算報告 . . . . . 55

## 2024年度 事業報告並びに決算報告

## 理事長報告

2024年度 第70代理事長  
石川 史織

青年会議所に入会していなかったら私はどのような人生を歩んでいたのだろうか。人とのつながりを必要とせず、自分の価値観だけで物事を判断し、目の前の現実だけを見ていた私を変えたのは四日市青年会議所でした。

私は青年会議所の仲間が大好きであり、会員皆が青年会議所で活動する中で未来に対し夢や希望を持ち活動していただきたい。そのような気持ちを常に意識し、2024年1月から第70代理事長として責務を全うしようと決意しました。理事長とはどのような存在なのか、私が会員皆にできること、そして青年会議所の理念である「明るい豊かな社会」の実現のために、私に何ができるのか自問自答を繰り返し、会員皆がそして周囲の方が最高の笑顔になれる未来を考えて参りました。

青年会議所に入会して一番の利点は、多種多様な価値観を持った仲間たちが同じ目的のために考え、行動することです。だからこそ、会員は多くの価値観を得ることができ自身の成長につながると私は考えます。そのためには、青年会議所の理念を多くの方に自らの言葉で伝え、青年会議所の理念と自らの夢や希望につなげて下さる仲間を募ることを第一と考え、理念共感拡大委員会を設置し一年間を通して多くの仲間を向かい入れていただけました。また、0から1を生み出す力は未来のまちに必要でありそして未来のまち創りの中心となる青少年に様々な価値観を持ち自らの未来を切り開いていただきたいと思い、まちづくり事業と青少年事業両輪で地域の活性を目的とする地域活性委員会を新たに設置し、JAZZ FESTIVALとの共同でのまちの魅力を発信する例会の開催には多くの市民の方が参加していただき、このまちの魅力を能動的に発信していただく機会となり、この循環が続くことで我々の住まうまちはさらに成長すると確信でき、青少年活動においても、150名を超える参加者が様々な国の文化を通し新たな価値観を笑顔で受け入れていただき、これからのまちの未来に大きくつながったと感じられました。四日市青年会議所は来年70周年を迎えるにあたり、本年度は70周年を無事に迎えそして未来につなげる準備の年として、内部出向として未来創造特別会議体を設置しこれからの四日市青年会議所の指針となる中長期ビジョンの策定を行いました。その中で一年間を通し会員皆より多くの意見をいただき、事務局の力を借り様々な改革を進めてまいりました。四日市青年会議所がとどこおり無く活動できたのは青年会議所の基盤となる事務局の皆がしっかりと支えてくださったと、心より感謝しております。私は一年の運動と活動を通して会員一人ひとりが青年会議所に意義を見出していただけたと思い、何よりも小さいかもしれませんが自身の夢や希望につなげていただけたと確信しております。青年会議所は誰もが夢や希望を抱き、叶える機会が得られる場所です。だからこそ自らの持つ夢や希望の実現のためにこれからも青年会議所を活用していただきたいとお願い申し上げます。

結びとなりますが、2024年の予定者段階から様々な運動を考え行動に移してくださった会員皆様、そして私たちの運動にご理解をいただき、共にご協力をいただきながら行動に移してくださった各種団体、行政、メディア関係各位、市民の皆様へ心から感謝を申し上げます。皆様のお力があったからこそ、多くの方々に最高の笑顔を創り出せたと、嬉しく思い、このような理事長という素晴らしい機会をいただき共に歩んできたことに感謝申し上げます。今後も四日市青年会議所の益々の発展と、まちの人々が最高の笑顔で過ごせる運動に寄与していくことをお約束して私の理事長報告とさせていただきます。

一年間本当にありがとうございました。

青年よ大志を抱け!!  
～最高の笑顔を創り出そう～

2024年度 理事長公職

1.	四日市市海洋少年団後援会	会 員
2.	四日市ハーフマラソン大会実行委員会	監 事
3.	暴力団追放三泗地区 市町民会議	理 事
4.	大四日市まつり実行委員会	委 員
5.	四日市港まつり実行委員会	委 員
6.	四日市市青少年育成市民会議	委 員
7.	四日市市社会福祉協議会	理 事
8.	四日市市「男女がいきいきと働き続けられる企業」表彰選考委員会	委 員

対外事業窓口

1.	海洋少年団	地域活性委員会
2.	四日市市献血推進	事務局
3.	四日市港まつり実行委員会	地域活性委員会

## 副理事長報告

副理事長 萩 広光

本年度、石川理事長が掲げたスローガン「青年よ、大志を抱け!!最高の笑顔を創り出そう」のもと、一年間の活動を行いました。私が担当した理念共感拡大委員会では、青年会議所の理念に共感し、会員拡大、会員交流、資質向上の3つを軸に、多くの事業や例会を実施し、理事長の所信の達成に向けて運動を推進してまいりました。

理念共感拡大委員会では、2月度例会、5月度例会、9月度例会、11月度例会を担当しました。2月度例会では、青年会議所の理念にメンバーが共感し、青年会議所の魅力や価値を自ら発信できるような場を提供できたと感じています。5月度例会では、四日市JCシニアクラブの先輩方との交流を深め、これまで参加されていなかった方々も参加していただき、次年度へとつながる例会となりました。9月度例会では、これまでの経験を活かし、座談会形式で資質向上を目指す例会を実施できました。11月度例会では、謎解き縁日ゲームを通じて、ご家族の皆様に笑顔を届けることができました。

日々の会員拡大や異業種交流会では、2月度例会に参加されたオブザーバーの方々が入会候補者となり、成果が出ました。また、資質向上の一環として、対象者に向けたJCプログラムの実施も行いました。

本年度は初めて副理事長を務め、多くの成長と学びの機会を得ました。これまで経験したことのない役職に、責任と重みを感じながらも、執行部としての自覚を持ち活動に取り組んできました。1年間を共にした清水委員長、宮田副委員長、河本副委員長、そして委員会メンバーとの議論を通じて、議案を計画し、関係性の重要性を改めて感じました。例会や事業では、メンバーの成長も実感できました。しかし、委員会運営の難しさも痛感し、私自身もまだ至らない点が多くありますが、すべてが成長の過程であり、この経験を次年度以降の活動に生かしていきたいと考えています。

本年度、理念共感拡大委員会を担当させていただき、多くの学びと経験を得ました。石川理事長をはじめ、執行部の皆様、委員長、副委員長には心から感謝申し上げます。この場を借りて、副理事長報告とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。

## 副理事長報告

副理事長 藤谷 竜大

2024年度、初めて執行部を務めさせていただき、自分なりに四日市青年会議所への向き合い方を見直す良い経験となりました。

また、担当させていただいた地域活性委員会では、まちの魅力を発信するために、まずその魅力を再確認し、四日市市の祭りを取り上げ、地域の方々に知っていただくことを目指しました。その一環として、諏訪太鼓を体験していただく例会を実施しました。青少年向けの事業としては、「オレたちのキャンプ場」をお借りし、さまざまな国の伝統的な祭りを体験することを通じて、多様な価値観を受け入れ、柔軟な発想を持ち、主体的に考え行動できるようになるための機会を提供できたのではないかと思います。

そして、最後の担当例会では、四日市の魅力を発信してくださる方々の協力を得て、素晴らしい例会を実施することができました。地域活性委員会の担当ブースでは、四日市の伝統的な陶板プレートを使って、商店街で陶板プレートバーベキューを行い、サルビア基金のPRブースも設けて、まちの魅力を発信する一助となったのではないかと考えています。

さらに、この10月度例会は、四日市JAZZ FESTIVALと同日開催となり、より幅広い層の方々にご参加いただけたのではないかと思います。せっかくのご縁ですので、今後も良好な関係を築き、まちの発展のために手を取り合っていいただければ幸いです。

サルビア基金の積立事業では、各メンバーのご尽力のおかげで、当初掲げていた目標を難なく達成することができました。自販機を活用したサルビア基金の積立も3年目を迎え、台数や積立額が安定してきたと感じています。来年度からは、交付事業の他に、サルビア基金の公募事業も検討していただきたいと考えています。

2024年度の活動を通して、至らない点が多くありましたが、地域活性委員会の担当副理事長としてさまざまな経験をさせていただいたことに心より感謝申し上げます。合わせて、ご不便をおかけした方々へ深くお詫び申し上げます。

## 専務理事報告

専務理事 田中 俊太郎

本年度は石川理事長のもと、「青年よ、大志を抱け!!～最高の笑顔を創り出そう～」をスローガンに、専務理事という要職をいただき、組織の中核となる会務と渉外の2つの職務を担当してまいりました。組織が今後も継続して活動していくためには、専務理事として何を成すべきか、新入会員の減少傾向にある今、未来に続く四日市青年会議所としてどうあるべきかを常に考え、理事長所信達成に向けて活動してまいりました。

2023年度の臨時総会で専務理事に選任されてからは、毎日不安と焦燥に駆られるなか、どうか皆様のご協力のもと、準備期間を終えついに2024年度が始まるという時、1月1日に能登半島地震が発生しました。被災された方々には心からお見舞い申し上げるとともに、奇しくも私の父が専務理事に就任した年も、阪神淡路大震災が発生した年であったことを思い出しました。この偶然は、専務理事としての職務を全うできるのかという啓示であると感じました。そのような状況下で2024年度のスタートを切り、予想できなかったことが多くあった年であるとも感じています。しかし、執行部の皆様からご指導とご協力をいただき、何よりも初めて理事を務める方々と共に組織の在り方を考えていただいた蛭波事務局長、田中財務委員長、高茂渉外委員長、そして私も含め、本当に縁の下の方たちとして支えていただいた光用事務局次長に心から感謝申し上げます。

本年度の事務局は、蛭波事務局長の旗振りのもと、フォロアーメンバー全員が一度は議案を書くという、これまでにない取り組みを実行しました。多くの方々から「これまでやろうとしてきたことはあったが、実際に行われたことはなかった。本当にすごいことだ」とお声をいただきました。これはひとえに事務局長と理事の皆様のおかげであり、その結果、通常総会、賀詞交歓会、臨時総会、卒業式を無事に開催し、その他多くの庶務も滞りなく全うすることができました。

専務理事としての職務は非常に多岐に渡りますが、本年度最も感じたことは、要職であるがゆえに、持続可能な組織として、専務理事としての在り方が今のままで良いのかという点です。業務を減らすのではなく、現在の業務を効率化する方法はないかと日々考えておりました。組織は常に変化し続けることが必要であり、全員がその重要性を感じているにも関わらず、専務理事の役職だけがあまり変わらないのであれば、専務理事という職務を担いたいと思う人材は減少していくのではないかと懸念しています。今後も専務理事という唯一無二の職務を務めた者として、変化すべき点は常に考えていかなければならないと思います。最後に、本年度も多くの方々に支えていただき、どうか1年間活動を邁進することができました。私たちは一人では何もできません。周囲の方々の笑顔を絶やさず、志を同じくする仲間とともに、地域社会に根差した活動を行っていきましょう。本当に1年間ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

## 監事報告

監事	伊藤 尚貴
監事	稲垣 雄介

2024年度、石川理事長のスローガン「青年よ大志を抱け!!～最高の笑顔を創り出そう～」に基づき、監事としてメンバーが大志を抱き、最高の笑顔を創り出せるよう努めてまいりました。予定者の段階から、諸先輩方から教わったことや自身の経験を、どのように現在の会員へ伝えるべきかを常に考え、その時々に必要なことを共有してまいりました。新型コロナウイルス感染症の影響がほとんどなくなり、活動が通常通りに行える状況が戻りつつある中、メンバー一人ひとりが地域や会員に求められることを考え、活動に邁進していました。メンバーの約半数はコロナ禍以前を知らない世代ですが、「変えるべきでない点」と「変えていかなければならない点」を意識しながら、監事として議論や発言を重ねてきました。

監事の役職は本来、第3者目線で会の運営が適切かを確認する役割ですが、本年度は例年以上にメンバーとの距離が近い立場で関わる機会が多い1年でした。これは会員数の減少に伴い、物理的にもメンバーと関わる機会が増えたことが一因です。この近い関係性には、メンバーに必要なことを直接伝えられるというメリットがあります。一方で、役職構造（副理事長→委員長→副委員長→メンバー）を経た伝達が省略されることで、中間層が学ぶ機会が減少するというデメリットもありました。このような課題を意識しながら、近い関係性の中で最適な伝え方を模索し、活動を続けてまいりました。

時代の変化や会員数の減少に対応するため、運営負担を軽減する新しい方法や事業の効率化が進められていることは非常に良い取り組みだと感じています。一方で、青年会議所として大切にしてきた理念や活動の意義が一部の人間だけに留まる状態が続くことには課題があります。このままでは、将来的に教える側の人間も本来の意義を理解しないまま指導する可能性があります。こうした現状を踏まえ、「変えるべきでない点」と「変えていかなければならない点」を改めて意識し、柔軟に対応していく必要性を実感しました。

石川理事長のもと、青年会議所活動・運動に最後まで邁進された四日市青年会議所全会員の皆様に心より感謝申し上げます。一年間、本当にありがとうございました。また、本年度実施された全ての例会および事業が理事長所信に沿った形で遂行され、会計処理が適切に行われたことをご報告いたします。

## 総会

1月13日(土)第124回通常総会 四日市市文化会館 四日市市地場産業振興センター 6階ホール

一般社団法人四日市青年会議所 2023年度事業報告(案)承認の件  
一般社団法人四日市青年会議所 2023年度決算(案)承認の件  
一般社団法人四日市青年会議所 2024年度組織図(案)承認の件  
一般社団法人四日市青年会議所 2024年度事業計画(案)承認の件  
一般社団法人四日市青年会議所 2024年度事業日程表(案)承認の件

6月12日(火)第一回臨時総会 四日市市文化会館 第3ホール

一般社団法人四日市青年会議所 2025年度理事長予定者承認の件  
一般社団法人四日市青年会議所 2025年度監事予定者選出の件  
一般社団法人四日市青年会議所 2025年度理事予定者選出の件

7月24日(水)第二回臨時総会 四日市市文化会館 第3ホール

一般社団法人四日市青年会議所 2025年度理事予定者承認の件  
一般社団法人四日市青年会議所 2025年度副理事長予定者承認の件  
一般社団法人四日市青年会議所 2025年度専務理事予定者承認の件

## 理事会報告

### 第1回 1月4日(木)ルーム8階開催(ハイブリッド)

- 1) 一般社団法人四日市青年会議所 2024年度 理事長・副理事長・専務理事(案)承認の件
- 2) 一般社団法人四日市青年会議所 2024年度 理事予定者会議議決事項(案)一括承認の件
- 3) 一般社団法人四日市青年会議所 2023年度 旧理事会議決事項(案)承認の件
- 4) 一般社団法人四日市青年会議所 2024年度 委員会人員構成修正(案)承認の件
- 5) 一般社団法人四日市青年会議所 2024年度 事業日程表修正(案)承認の件
- 6) 一般社団法人四日市青年会議所 2024年度 派遣役員・委員修正(案)承認の件
- 7) 理念を浸透させ共感を得る会員拡大(案)承認の件
- 8) 2月度例会(案)承認の件
- 9) 3月度例会(案)承認の件
- 10) 2024年度収支予算修正(案)承認の件
- 11) 「年間登録料一括預り金」制度(案)承認の件

### 第2回 2月2日(金)ルーム8階開催(ハイブリッド)

- 1) 新入会員(案)承認の件

### 第3回 3月5日(火)ルーム8階開催(ハイブリッド)

- 1) 次年度役員選考委員会設置並びに委員選任(案)承認の件
- 2) 入会希望者(案)承認の件
- 3) 休会希望者(案)承認の件
- 4) 一般社団法人四日市青年会議所 2024年度 派遣役員・委員修正(案)承認の件
- 5) 4月度例会(案)承認の件

### 第4回 4月4日(木)ルーム8階開催(ハイブリッド)

- 1) 新入会員(案)承認の件
- 2) 入会希望者(案)承認の件
- 3) 5月度例会(案)承認の件
- 4) 第124回通常総会収支決算(案)並びに事業報告(案)承認の件
- 5) 賀詞交歓会収支補正予算(案)承認の件

第5回 4月26日(金)ルーム8階開催(ハイブリッド)

- 1) 例会3ヶ月連続欠席者会員資格継続(案)承認の件
- 2) 第一回臨時総会(案)承認の件
- 3) 賀詞交歓会収支決算(案)並びに剰余金処分(案)・事業報告(案)承認の件
- 4) 2月度例会収支決算(案)並びに剰余金処分(案)・事業報告(案)承認の件

第6回 6月4日(火)ルーム8階開催ハイブリッド)

- 1) 新入会員(案)承認の件
- 2) 2024年度収支予算修正(案)承認の件
- 3) 第二回臨時総会(案)承認の件
- 4) 8月度例会(案)承認の件

第7回 7月4日(木)ルーム8階開催(ハイブリッド)

- 1) 新入会員(案)承認の件
- 2) 4月度例会収支決算(案)並びに事業報告書(案)承認の件

第8回 7月30日(火)ルーム8階開催(ハイブリッド)

- 1) 新入会員(案)承認の件
- 2) 後援名義使用(案)承認の件
- 3) 9月度例会(案)承認の件
- 4) 10月度例会(案)承認の件
- 5) 3月度例会収支決算(案)並びに剰余金処分(案)・事業報告書(案)承認の件
- 6) 5月度例会収支補正予算(案)承認の件

第9回 9月4日(水)ルーム8階開催(ハイブリッド)

- 1) 入会希望者(案)承認の件

第10回 10月2日(水)ルーム8階開催(ハイブリッド)

- 1) 11月度例会(案)承認の件

第11回 11月5日(火)ルーム8階開催(ハイブリッド)

- 1) 入会希望者(案)承認の件
- 2) シニアクラブ会員除名(案)承認の件
- 3) 財産目録Ⅰ 流動資産①預金 (6) 四日市JCシニアクラブ会計取り崩し(案)承認の件
- 4) 12月度例会(案)承認の件
- 5) 5月度例会収支決算(案)並びに事業報告(案)承認の件

- 6) 第一回臨時総会収支決算(案)並びに事業報告(案)承認の件
- 7) 第二回臨時総会収支決算(案)並びに事業報告(案)承認の件

第12回 12月11日(水)ルーム8階開催(ハイブリッド)

- 1) 新入会員(案)承認の件
- 2) 四日市市長選挙公開討論会収支補正予算(案)承認の件
- 3) 一般社団法人四日市青年会議所 2025年度委員会事業計画(案)並びに予算(案)承認の件
- 4) 一般社団法人四日市青年会議所 2025年度収支予算(案)承認の件
- 5) 8月度例会収支決算(案)並びに剰余金処分(案)・事業報告(案)承認の件

## 2024年度 事業日程

<b>【1月】</b>		
4日	1月度理事会 能登半島大震災支援物資	ルーム ルーム
5日	四日市商工会議所 賀詞交歓会	都ホテル
7日	はやぶさ2 四日市タッチダウンプロジェクト	四日市港ポートビル
9日	JCI豊田 新年賀詞交歓会	名鉄トヨタホテル
10日	JCI名古屋 賀詞交歓会	名古屋観光ホテル
11日	JCI志摩 所信表明会	志摩商工会館
13日	第124回通常総会 賀詞交歓会	四日市地場産業振興センター 都ホテル
16日	BNI×JC	四日市地場産業振興センター
17日	第2回正副理事長会議	ルーム
18日	社会福祉法人四日市市社会福祉協議会	ルーム
19日	京都会議 日本青年会議所 理事会 東海地区協議会 第1回会員会議所会議 第1回JC教育推進委員会 全体会議訪問	京都市内各所 国立京都国際会館 国立京都国際会館 薩摩ごかもん
21日	京都会議 日本青年会議所 総会	京都市内各所 国立京都国際会館
22日	京都会議	京都市内各所
22日	四日市市青少年市民育成会議	四日市市総合会館
24日	チーム四日市 情報交換会議	四日市市総合会館
26日	献血啓発活動	近鉄四日市駅北口・ふれあい モール
27日	出向者を励ます会	THE FUNATSUYA
30日	西野先輩 弔問	西野産業株式会社
<b>【2月】</b>		
2日	2月度理事会	ルーム
4日	新しい市民協働プラットフォーム創造事業	四日市市総合会館
6日	令和4年度 暴力追放三泗地区市町民大会	四日市市総合会館
8日	2月度例会	四日市市文化会館
14日	チーム四日市 情報交換会議	四日市市総合会館
15日	第3回正副理事長会議	ルーム
14日	第1回会員会議所会議	二富士
16日	第3回正副理事長会議	ルーム
22日	異業種交流会	Hills 四日市本店
24日	石川ブロック支援	七尾サンライフプラザ
26日	2024年度 3LOM合同会議	柿安本店
27日	太鼓チーム練習	有限会社服部建設工業

### 【3月】

3日	三重ブロック協議会 第2回役員会議	四日市地場産業振興センター
5日	3月度理事会	ルーム
8日	3月度例会	四日市市勤労者・市民交流センター
13日	チーム四日市 情報交換会議	四日市市総合会館
14日	太鼓チーム練習	有限会社服部建設工業
17日	第2回会員会議所会議	鈴鹿市牧田地区市民センター
19日	四日市市青少年育成市民会議 第4回正副理事長会議	四日市総合会館 ルーム
20日	新しい市民協働プラットフォーム交流会	近鉄百貨店四日市店
21日	太鼓チーム練習	有限会社服部建設工業
24日	じゃがいもクラブ3月度例会	三重カンツリークラブ
23日	日本青年会議所 総会	ベルサール新宿セントラルパーク

### 【4月】

2日	未来を創る人財育成委員会 訪問(三重BC協議会)	ルーム
4日	4月度理事会	ルーム
9日	4月度例会	四日市市文化会館
15日	四日市JAYCEEプログラム	ルーム
16日	第5回正副理事長会議	ルーム
17日	チーム四日市 情報交換会議	四日市市総合会館
18日	北伊勢上野信用金庫 訪問 太鼓チーム練習	北伊勢上野信用金庫本店 有限会社服部建設工業
23日	四日市港祭り実行委員会	四日市港ポートビル
24日	じゃがいもクラブ4月度例会	四日市の里ゴルフクラブ
26日	5月度理事会	ルーム
27日	日本青年会議所 JC教育推進委員会 訪問	四日市地場産業振興センター

### 【5月】

12日	第3回会員会議所会議	松阪商工会議所
13日	第2回四日市祭り実行委員会	四日市市役所
15日	5月度例会	都ホテル
17日	第6回正副理事長会議	ルーム
20日	じゃがいもクラブ5月度例会	ゴルフ5カントリーー四日市
21日	桑名交流 JC野球交流会	九華公園野球場
22日	次年度理事長候補者を囲む会	Hills 四日市本店
23日	太鼓チーム練習	有限会社服部建設工業
24日	第4回臨時正副理事長会議	WEB

25日	ブロックアカデミー	津市産業・スポーツセンター
27日	会頭公式訪問	THE FUNATSUYA

# 【6月】

4日	6月度理事会	ルーム
7日	JCI ASIA PACIFIC CONFERENCE	カンボジア アンコールワット
8日	JCI ASIA PACIFIC CONFERENCE	カンボジア アンコールワット
9日	JCI ASIA PACIFIC CONFERENCE	カンボジア アンコールワット
10日	JCI ASIA PACIFIC CONFERENCE	カンボジア アンコールワット
11日	じゃがいもクラブ6月度例会	名四カントリークラブ
12日	6月度例会	四日市市文化会館
13日	太鼓チーム練習	有限会社服部建設工業
16日	JCI松阪 創立記念式典ならびに祝賀会	華王殿
17日	JCI瀬戸 記念式典・祝賀会	瀬戸蔵
20日	第6回正副理事長会議	ルーム
18日	四日市青年会議所 理念共感交流会	Hills 四日市本店
25日	第2回四日市港まつり実行委員会 議案セミナー	四日市港ポートビル radi café apartment 2階
27日	太鼓チーム練習	有限会社服部建設工業
28日	JCI安城 委員会訪問	Park Side Hills
29日	JCカップU-11少年少女サッカー三重県予選大会 JCI中津川 記念式典ならびに記念祝賀会	どんぐりパーク 東美濃ふれあいセンター歌舞 伎ホール
30日	東海地区 理念共感プロモーター育成事業	安保ホール

# 【7月】

1日	リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会	ホテルグリーンパーク
4日	7月度理事会	ルーム
5日	暴力追放三泗地区市町民会	四日市市総合会館
6日	東海地区 第2回会員会議所会議 東海コンファレンス 2024	岐阜市文化センター小劇場 岐阜市文化センター小劇場
7日	新しい市民協働フォーラム 2024	四日市市総合会館
8日	第4回会員会議所会議	戸田家
11日	太鼓チーム練習	有限会社服部建設工業
16日	太鼓チーム練習	有限会社服部建設工業
17日	第8回正副理事長会議	ルーム
19日	日本青年会議所 JC 教育推進委員会 訪問	横浜市内
20日	サマーコンファレンス 2024	パシフィコ横浜
21日	サマーコンファレンス 2024	パシフィコ横浜
2#日	JCI 日本公認プログラム Purpose	WEB

24 日	7 月度例会	四日市市文化会館
26 日	献血啓発活動	近鉄四日市駅北口・ふれあいモール
27 日	太鼓チーム練習	有限会社服部建設工業
29 日	太鼓チーム練習	有限会社服部建設工業
30 日	8 月度理事会	ルーム
31 日	太鼓チーム練習	有限会社服部建設工業
<b>【8月】</b>		
1 日	太鼓チーム飾り付け	有限会社服部建設工業
2 日	四日市祭り JC 諏訪太鼓チーム	四日市市内
3 日	四日市祭り JC 諏訪太鼓チーム	四日市市内
4 日	四日市祭り JC 諏訪太鼓チーム	四日市市内
5 日	JCI 豊田 例会参加	ホテルトヨタキャッスル
7 日	第 7 回臨時正副理事長会議	WEB
18 日	8 月度例会	俺たちのキャンプ場
19 日	村木敏雄先輩お別れの会	ホテルグリーンパーク
20 日	木村輝秀先輩御尊父お別れ会	四日市市文化会館
22 日	四日市市社会福祉協議会 第 5 回理事会 第 9 回正副理事長会議	四日市市総合会館 ルーム
23 日	四日市市青少年育成市民会議第 2 回運営委員会	四日市市総合会館
24 日	異業種交流会	Hills 本店
27 日	はもりあいシンポジウム「先進企業に学ぶ！働きやすい職場づくり」	四日市商工会議所
<b>【9月】</b>		
4 日	9 月度理事会	ルーム
6 日	9 月度例会	四日市市文化会館
7 日	雨港国際青年商會公式訪問 国際交流会議	愛知県・三重県内、ルーム
8 日	雨港国際青年商會公式訪問	三重県内
9 日	雨港国際青年商會公式訪問	愛知県・三重県内
11 日	じゃがいもクラブ 9 月度例会	鈴峰ゴルフ倶楽部
15 日	第 5 回会員会議所会議	名張市武道交流館いきいき
17 日	JCI 志摩 記念式典並びに記念祝賀会	賢島宝生苑
19 日	第 10 回正副理事長会議	ルーム 8 階
21 日	JCI 桑名・JCI 四日市 交流会	HEXRA R AIRSOFT ARENA
28 日	三重ブロック大会	阿児アリーナ、賢島宝生苑
29 日	地域開発事業、式典・卒業式、大懇親会 JCI 北名古屋 創立記念式典	名古屋芸術大学 東キャンパス

30 日 東海地区協議会 第 1 回臨時会員会議所会議 WEB

【10月】

2 日	10 月度理事会	ルーム
3 日	太鼓チーム練習	有限会社服部建設工業
4 日	第 73 回全国大会 日本青年会議所 JC 教育推進委員会 訪問	福岡国際会議場・マリンメッセ福岡 福岡市内
5 日	第 73 回全国大会	福岡国際会議場・マリンメッセ福岡
6 日	第 73 回全国大会	福岡国際会議場・マリンメッセ福岡
8 日	青少年育成市民会議 第 3 回 運営委員会 三重 BC ジャがいもクラブ秋季大会	四日市市総合会館 島ヶ原カントリークラブ
9 日		
11 日	水谷勝也先輩 通夜式	四日市中央斎奉閣
12 日	水谷勝也先輩 告別式	四日市中央斎奉閣
17 日	第 11 回正副理事長会議	ルーム
19 日	10 月度例会	四日市駅前商店街内
24 日	太鼓チーム練習	有限会社服部建設工業
25 日	太鼓チーム演奏 株式会社 GMC 周年祭	都ホテル
26 日	東海コンファレンス 2024 運営委員会 訪問	大正館
31 日	世界会議 桃園大会	台湾 桃園

【11月】

1 日	世界会議 桃園大会	台湾 桃園
2 日	世界会議 桃園大会	台湾 桃園
3 日	雨港国際青年商會 公式訪問	台湾 台北
4 日	雨港国際青年商會 公式訪問・国際会議	台湾 台北
5 日	雨港国際青年商會 公式訪問 11 月度理事会	台湾 台北 ルーム
6 日	輝く三重創造委員会 訪問	ルーム
7 日	JCI 桑名 例会参加	桑名シティホテル
9 日	11 月度例会	四日市市文化会館
10 日	第 6 回会員会議所会議	志摩市図書館
11 日	令和 6 年度四日市市「男女いきいき働き続け れる 企業」表彰選考委員会	四日市市役所
12 日	じゃがいもクラブ 11 月度例会	グレイスヒルズカントリー倶楽部

15 日	四日市市長選挙公開討論会	四日市商工会議所
20 日	第 12 回正副理事長会議	ルーム
21 日	三重県内 LOM 合同フットサル大会	フットサーカス鈴鹿
25 日	東海地区協議会 第 3 回会員会議所会議	名古屋東急ホテル
25 日	太鼓チーム 60 周年記念祝賀会	都ホテル
26 日	雨港国際青年商會 答礼訪問	四日市市内

## 【12月】

1 日	12 月度例会	都ホテル
4 日	本次年度合同会員会議所会議	THE FUNATSUYA
11 日	12 月度理事会	ルーム
17 日	12LOM の集い	THE KAWABUN NAGOYA
18 日	第 2 回青少年育成基金「サルビア基金」運営委員会	ルーム
19 日	第 12 回正副理事長会議	ルーム
21 日	じゃがいもクラブ 12 月度例会	菰野倶楽部ジャック・ニクラウスゴルフ コース
	じゃがいもクラブ 忘年会	プラトンホテル四日市
25 日	本監査	ルーム
26 日	旧 1 月度理事会	ルーム
28 日	ルーム大掃除	ルーム

## 理念共感拡大委員会

委員長	清水 一輝
副委員長	宮田 知
副委員長	河本 雄次

本年度、理念共感拡大委員会は会員拡大、会員交流、資質向上の三本柱を軸に活動を進めてまいりました。会員拡大は四日市青年会議所にとって必要不可欠であると考え、取り組んできました。しかし、結果として卒業生8名、入会者7名という成果にとどまり、会員拡大の目的を果たせなかったことを反省しております。

会員拡大の委員長職をお預かりし、初めて直面した壁は、全会員への拡大意識の定着だと感じました。会員拡大は担当委員会だけが行うものだという雰囲気があり、まずは全会員に拡大意識を浸透させるべきだと考え、試みました。会員拡大を進める中で、2月には「理念を浸透させ共感を得る拡大」をテーマに例会を開催しました。講師をお招きし、青年会議所の理念を会員とオブザーバーの方々にお伝えしました。

5月には四日市JCシニアクラブ会員の先輩方との親睦を深め、候補者を紹介いただけるよう信頼を築くことを目的として、シニアクラブ交流会を開催しました。9月度例会では資質向上をテーマに、「青年会議所をどのように活用すべきか」「青年会議所に所属する目的は何か」を考え、それぞれが青年会議所から学びや気づきを得られるような例会を開催しました。

11月には「身近な方の笑顔を作る」をテーマに例会を開催しました。謎解き縁日ゲームを通じて、多くのお子様やご家族を招待し、笑顔を生み出すことができたと感じています。最後に、12月例会後には卒業生を囲む会を開催しました。当日、私は所用で参加できなかったのですが、卒業生を除いた委員会メンバーが円滑に事業を進めてくれたことに感動しました。

本年は4回の例会と1つの事業、会員拡大および会員交流の職務分掌をお預かりし、運動を進めることができましたが、2人の副委員長や委員会メンバーの支えがなければ、途中で諦めていたと思います。会員拡大は目的を達成できませんでしたが、この1年間は非常に勉強となり、貴重な経験を積むことができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

スケジュール表

開催日	場所	内容
開催日	場所	内容
2023 年 9 月 29 日	大正館	初顔合わせ・第 1 回委員会
2023 年 10 月 26 日	MG 四日市	第 2 回委員会
2023 年 11 月 30 日	ルーム	第 3 回委員会
2023 年 12 月 21 日	MG 四日市	第 4 回委員会
2024 年 1 月 9 日	ルーム	第 5 回委員会
2024 年 2 月 5 日	ルーム	第 6 回委員会
2024 年 2 月 8 日	四日市市文化会館第三ホール	2 月度例会
2024 年 2 月 22 日	Hills 本店	異業種交流会
2024 年 3 月 12 日	ルーム	第 7 回委員会
2024 年 4 月 5 日	ルーム	第 8 回委員会
2024 年 4 月 15 日	ルーム	JAYCEE プログラム
2024 年 5 月 7 日	ルーム	第 9 回委員会
2024 年 5 月 15 日	都ホテル四日市	5 月度例会
2024 年 6 月 7 日	ルーム	第 10 回委員会
2024 年 7 月 8 日	ルーム	第 11 回委員会
2024 年 8 月 6 日	ルーム	第 12 回委員会
2024 年 8 月 24 日	Hills 本店	異業種交流会
2024 年 9 月 5 日	ルーム	第 13 回委員会
2024 年 9 月 6 日	四日市市文化会館第三ホール	9 月度例会
2024 年 10 月 15 日	ルーム	第 14 回委員会
2024 年 11 月 6 日	ルーム	第 15 回委員会

2024 年 11 月 9 日	四日市市文化会館第四ホール	11 月度例会
2024 年 12 月 2 日	ルーム	JAYCEE プログラム
2024 年 12 月 9 日	若竹	第 16 回委員会・忘年会

## 地域活性委員会

委員長	西田 真之
副委員長	仲野 仁裕
副委員長	九鬼 和大

2024年度、地域活性委員会の委員長として、地域の発展と青少年の育成を結びつけた新たな挑戦を実施しました。これまで別々に進められていた「まちづくり」と「青少年育成」の活動を一本化し、地域の可能性を広げる取り組みを進めてまいりました。地域の方々が多様な価値観を受け入れ、まちに誇りと帰属意識を持てるよう、さまざまな機会を設けました。

4月度例会では、四日市の魅力を再発見し、新たな視点を得る場を提供しました。この例会では、伝統行事である祭りをテーマに、地域住民や行政、企業の方々と連携しパネルディスカッションを開催しました。さらに、諏訪太鼓の演奏を体験していただくことで、参加者が地域文化に触れ、その魅力を実感する場となりました。このような取り組みを通じて、地域の魅力を知り、共感し、多様な価値観を広めるきっかけを作ることができました。

8月度例会では、夏休みを活用し、青少年を対象にしたファミリーデイキャンプを行いました。このキャンプでは、子どもたちが普段とは異なる環境で主体的に活動し、柔軟な発想を育む機会を提供しました。また、保護者世代が子どもたちの活動を見守りながら、新しい価値観を受け入れるきっかけとなるよう工夫を凝らしました。さらに、外国の伝統や文化に触れる体験を通じて、多様な価値観の理解を深め、地域を越えた交流を促進しました。同時に、サルビア基金の活動を広く伝え、青少年育成事業の継続と発展につながる成果を得ることができました。

10月度例会では、地域の魅力と青少年への想いを融合させ、地域全体の結束力を高めることを目指しました。この例会では、既存の魅力を新しい視点で発信することで、地域住民がまちに対する関心を持ち、郷土愛や仲間意識を深めるきっかけを作りました。また、他団体との交流を積極的に行い、四日市青年会議所の活動を多くの方々に知っていただける機会にもなりました。

これらの活動を通じて、地域住民とともに地域の魅力を再発見し、青少年が主体性を持って成長する土台を築くことができました。また、多様な方々との連携を深めることで、地域活性化の可能性をさらに広げる成果を得ることができたと感じています。今年で私の委員長としての役目は終わりますが、これからも地域の未来を見据え、多くの人々と協力しながら、このまちのさらなる発展を願っています。

最後に、理事長が掲げる「笑顔」を地域活性委員会のメンバーと四日市青年会議所のメンバー、そして地域の方々とともにたくさん作ることができ、とても嬉しく思います。一年間、ありがとうございました。

スケジュール表

開催日	場所	内容
2023 年 9 月 25 日	大正館	第 1 回地域活性委員会 委員会 顔合わせ
2023 年 10 月 13 日	ルーム 8 階	第 2 回地域活性委員会 委員会
2023 年 11 月 13 日	ルーム 8 階	第 3 回地域活性委員会 委員会
2023 年 11 月 24 日	ルーム 8 階	第 4 回地域活性委員会 委員会
2023 年 12 月 19 日	ルーム 8 階	第 5 回地域活性委員会 委員会
2024 年 1 月 10 日	ルーム 8 階	第 6 回地域活性委員会 委員会
2024 年 2 月 5 日	ルーム 8 階	第 7 回地域活性委員会 委員会
2024 年 2 月 16 日	四日市勤労者・市民センター	会場確認&リハーサル
2024 年 3 月 1 日	ルーム 8 階	小委員会
2024 年 3 月 4 日	ルーム 8 階	小委員会
2024 年 3 月 6 日	ルーム 8 階	小委員会
2024 年 3 月 7 日	服部建設、ルーム 8 階	第 8 回地域活性委員会 委員会&リハーサル
2024 年 3 月 8 日	四日市勤労者・市民センター	3 月度例会
2024 年 4 月 5 日	ルーム 8 階	第 9 回地域活性委員会 委員会
2024 年 4 月 6 日	MG 四日市	小委員会(10 月度例会について)
2024 年 5 月 8 日	ルーム 8 階	第 10 回地域活性委員会 委員会
2024 年 5 月 24 日	四日市市内	小委員会(10 月度例会の模擬体験)
2024 年 6 月 13 日	ルーム 8 階	第 11 回地域活性委員会 委員会
2024 年 6 月 26 日	四日市市内	小委員会(10 月度例会の模擬体験)
2024 年 6 月 28 日	ルーム 6 階	小委員会(8 月度例会チラシ仕分け作業)
2024 年 7 月 1 日	ルーム 6 階	小委員会(8 月度例会チラシ仕分け作業)
2024 年 7 月 10 日	ルーム 8 階	第 12 回地域活性委員会 委員会

2024 年 7 月 16 日～18 日	三泗地区各小学校	8 月度例会チラシ配布
2024 年 7 月 22 日	俺たちのキャンプ場	小委員会（会場打ち合わせ）
2024 年 7 月 31 日	俺たちのキャンプ場	小委員会（会場打ち合わせ、配置確認等）
2024 年 8 月 9 日	ルーム 8 階	第 13 回地域活性委員会 委員会
2024 年 8 月 16 日	ルーム 6 階	小委員会(備品、印刷物準備)
2024 年 8 月 17 日	俺たちのキャンプ場	小委員会(前日設置準備)&リハーサル
2024 年 8 月 18 日	俺たちのキャンプ場	8 月度例会
2024 年 9 月 13 日	HiLLS 本店	第 14 回地域活性委員会 委員会&打ち上げ会
2024 年 10 月 3 日	ルーム 6 階	小委員会(10 月度例会打ち合わせ)
2024 年 10 月 11 日	四日市商店街	小委員会(現地視察、シュミレーション)
2024 年 10 月 15 日	ルーム 8 階	第 15 回地域活性委員会 委員会
2024 年 10 月 17 日	四日市商店街	小委員会(現地視察、シュミレーション)
2024 年 10 月 18 日	ルーム 6 階	小委員会(備品、印刷物準備)
2024 年 10 月 19 日	四日市商店街	10 月度例会
2024 年 11 月 6 日	八城寿司本店	第 16 回地域活性委員会 委員会&忘年会
2024 年 12 月 16 日	ルーム 6 階	第 17 回地域活性委員会 委員会

## 事務局

事務局長	蛭波 敬
財務委員長	田中 充彦
渉外委員長	高茂 亮太
事務局次長	光用翔太郎

本年度、事務局は初理事での委員長3名という体制で、石川理事長が掲げた「青年よ大志を抱け!!～最高の笑顔を創り出そう～」というスローガンのもと、いくつものチャレンジを重ねてきました。年度が交錯する中で、しなければならない事務的な作業を進める一方で、初めて経験する理事として、委員長としてどうあるべきかということを経験する毎日でした。年度が始まる直前まで考えた末に、個人として導き出した答えがありました。それは、「自分でやりきらない」ということでした。やればできることでも、一緒にやる。その時間、その経験を共有することが、委員会をまとめる最も大切な鍵だと思い、一年間、他の2名の委員長を含め、委員メンバーに何かと協力してもらいながら進めてきました。

通常総会と賀詞交歓会を同じ委員会で同一開催するという計画は、当初「無謀だ」との声を多くいただきました。しかし、決めた以上はやるという気持ちで、理事4名で下準備に邁進し、当日が近づくにつれて委員メンバーにも役割を分担していきました。結果、大きなトラブルを生じることなく終えることができました。この姿を見ていた委員メンバーが、一人、また一人と自らの役割を掴み、自発的に動き出してくれたことは、委員会の長として、年初に考えたことは間違っていなかったと実感できた瞬間でした。

2024年度は事務局の担当例会が始まり、締めくくるという年でした。組織の始まりと総括のタイミングを俯瞰することができたことは、事務局長を務めたからこそその貴重な経験だと思います。間違いなく、一年で最も議案を先導して作成しなかった委員長であり、一年で最も委員会メンバーを中心に例会の計画や運営を行った委員会だと自負しています。これは本当に委員会メンバーの協力のおかげだと心から思います。同時に、田中財務委員長、高茂渉外委員長が私の考えに共感し、行動してくれたおかげだと思います。さらに、理事経験者として常に全体を見渡し、的確に指摘をしてくれた光用事務局次長には、本当に支えていただきました。また、毎月少なくとも7回は顔を合わせ、上長として導いてくれた田中専務理事には、入会時の担当委員長としても、年齢や経験に関係なく真正面からぶつかり、議論を重ねることができ、私自身が成長できたと感じています。

青年会議所活動は多くの時間を必要とします。家族、友人、仕事とさまざまな選択をしなければならない毎日の中で、さらにもう一つの選択肢が加わります。しかし、時間は有限であり、すべての人に平等に与えられています。自分のした選択に意義を見出すこと、その繰り返しで青年会議所活動を進める上で大切な原動力ではないでしょうか。今年の事務局では、これ以上ない貴重な経験をさせていただき、成長する姿を見させてもらうことができました。心より感謝しています。

1年間、ありがとうございました。

スケジュール表

開催日	場所	内容
2023 年 9 月 25 日	大正館	第 1 回 事務局委員会（初顔合わせ）
2023 年 10 月 12 日	ルーム	小委員会
2023 年 10 月 26 日	ルーム	第 2 回 事務局委員会
2023 年 11 月 24 日	ルーム	第 3 回 事務局委員会
2023 年 12 月 18 日	ルーム	第 4 回 事務局委員会
2023 年 12 月 21 日	ルーム	小委員会
2023 年 12 月 27 日	ルーム	小委員会
2024 年 1 月 9 日	ルーム	小委員会
2024 年 1 月 11 日	ルーム	第 5 回 事務局委員会
2024 年 1 月 12 日	都ホテル四日市	小委員会
2024 年 1 月 13 日	じばさん三重	第 124 回 通常総会
2024 年 1 月 13 日	都ホテル四日市	賀詞交歓会
2024 年 2 月 7 日	ルーム	第 6 回 事務局委員会
2024 年 3 月 7 日	ルーム	第 7 回 事務局委員会
2024 年 4 月 8 日	ルーム	第 8 回 事務局委員会
2024 年 5 月 9 日	ルーム	第 9 回 事務局委員会
2024 年 6 月 3 日	ルーム	小委員会
2024 年 6 月 10 日	ルーム	第 10 回 事務局委員会
2024 年 6 月 11 日	ルーム	小委員会
2024 年 6 月 12 日	四日市市文化会館第 3 ホール	6 月度例会 第一回臨時総会
2024 年 7 月 9 日	ルーム	第 11 回 事務局委員会
2024 年 7 月 17 日	ルーム	小委員会

2024 年 7 月 24 日	四日市市文化会館第 3 ホール	7 月度例会 第二回臨時総会
2024 年 8 月 8 日	ルーム	第 12 回 事務局委員会
2024 年 9 月 10 日	ルーム	第 13 回 事務局委員会
2024 年 10 月 16 日	ルーム	第 14 回 事務局委員会
2024 年 11 月 8 日	ルーム	第 15 回 事務局委員会
2024 年 11 月 26 日	ルーム	小委員会
2024 年 12 月 1 日	都ホテル四日市	12 月度例会 卒業式
2024 年 12 月 12 日	ルーム	第 16 回 事務局委員会
2024 年 12 月 28 日	会場未定	懇親会

## 太鼓チーム

打頭	橋本 友彦
総括幹事	後藤 亮太
運営幹事	蛭波 敬
会計幹事	中島 和人

いつも太鼓チームの活動に対するご理解とご協力、誠にありがとうございます。また、2024年度は太鼓チーム創設60周年という節目の年であり、11月28日に開催された60周年記念祝賀会には、チームのメンバーのみならず多くの会員の皆様にもご出席いただき、心より感謝申し上げます。

太鼓チームは、練習から四日市JCシニアクラブの先輩方にご指導いただいているクラブであり、その歴史を築いてこられた先輩方の期待も大きく、私たちにかかる責任は非常に重いものです。打頭としてその責務に押しつぶされそうになることもありましたが、現役メンバーのひたむきな練習に励む姿に支えられ、無事に一年をやり遂げることができました。これまで太鼓での演奏経験がなかったメンバーや、入会したばかりのメンバーが多かった中で、経験者がリードしながらまつり本番に向けた練習を重ねてきました。それでも、練習に参加していただいた先輩方には、時に「気持ちが足りていない」と叱咤激励していただく場面もありました。先輩方がこれまで築いてこられた太鼓チームへの思いを直接伝えていただけることこそが、太鼓チームの醍醐味だと感じています。

まつり本番の3日間は本当にあっという間で、丸一日太鼓を演奏しながら市内を回るのが、時間が過ぎるのがとても早く感じました。メンバー全員の気持ちが高まる中で、演奏を通じてチームとしての結束がますます強くなっていくのを実感しました。まつりを無事に終えることができたのは、メンバーが力を合わせ、文字通り結集していったからこそだと、打頭として非常に嬉しく思っています。今年の太鼓チームは、毎年更新されているかもしれませんが、本当に最高のチームだったと感じています。

最後に、この一年間の太鼓チームの活動が充実したものになったことを、改めて感謝申し上げます。

一年間、太鼓チームの活動にご協力いただき、ありがとうございました。

スケジュール表

開催日	場所	内容
03 月 21 日	有限会社服部建設工業	練習
04 月 18 日	有限会社服部建設工業	練習
05 月 23 日	有限会社服部建設工業	練習
06 月 13 日	有限会社服部建設工業	練習
07 月 11 日	有限会社服部建設工業	練習
07 月 16 日	有限会社服部建設工業	練習
07 月 29 日	有限会社服部建設工業	練習
07 月 31 日	有限会社服部建設工業	練習
08 月 01 日	有限会社服部建設工業	大四日市まつり前日飾り付け
08 月 02 日	四日市市内	大四日市まつり訪問演奏
08 月 03 日	四日市市内	大四日市まつり訪問演奏
08 月 04 日	四日市市内	大四日市まつり訪問演奏
10 月 24 日	有限会社服部建設工業	練習
10 月 25 日	都ホテル四日市	(株)GMC 創立 50 周年記念祝賀会
11 月 28 日	都ホテル四日市	太鼓チーム創立 60 周年記念祝賀会

会計報告

1)収入の部

科目	金額	備考
本会計より	50,000	
合計	50,000	

2)支出の部

科目	金額	備考
企画演出費	50,000	
合計	50,000	

3)余剰金並びに処分

科目	金額	備考
余剰金	0	
合計	0	

## 野球クラブ

会長 杉本 崇  
幹事 九鬼 和大

三重県内の他の青年会議所野球クラブと行う「7LOM大会」については、開催の調整がつかず、4年連続で未開催となりました。しかしながら、「桑名青年会議所との野球交流」では、平日のナイターとして桑名青年会議所主催のもと、九華公園野球場にて試合を実施することができました。試合結果は惜しくも敗北となりましたが、現役所属メンバーだけでなく、研修生にも参加していただき、双方の交流を深めることができました。

また、残念ながら雨天中止となり開催には至りませんでした。津青年会議所との交流試合も企画されていました。津青年会議所とは、これまで「7LOM大会」を通じて試合を行ったことはありましたが、個別での交流試合は近年実施されていませんでした。この交流が実現したのは、昨年ご卒業された先輩をはじめ、皆さまが青年会議所活動を通じて培ったつながりの結果であると感じています。

最後に、参加していただいた皆さま、研修生、そして応援に来てくれたメンバーに、クラブを代表して心から感謝申し上げます。来年度も四日市青年会議所内だけでなく、他の青年会議所ともさらに交流を深めてまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。  
1年間、ありがとうございました。

スケジュール表

開催日	場所	内容
2024 年 5 月 21 日	九華公園野球場	一般社団法人桑名青年会議所・ 一般社団法人四日市青年会議所 野球交流試合
2024 年 9 月 22 日 (雨天のため中止)	石垣池公園野球場	公益社団法人津青年会議所・ 一般社団法人四日市青年会議所 野球交流試合

会計報告

1)収入の部

科目	金額	備考
本会計より	20,000	
合計	20,000	

2)支出の部

科目	金額	備考
施設使用料	0	
合計	0	

3)余剰金並びに処分

科目	金額	備考
	20,000	
合計	20,000	

## じゃがいもクラブ

現役幹事長 杉谷 俊輔

昨年度の秋の三重ブロック協議会じゃがいもクラブ秋季大会後、先輩と現役会員が交流する中で、じゃがいもクラブ幹事長の役職を指名していただき、本年度現役幹事長職をお預かりすることとなりました。2019年の入会以来、じゃがいもクラブには多くの回数参加させていただき、また幹事の役職も経験させていただいたこともあり、2024年度の一年間は業務的にではなく、誠心誠意取り組む覚悟で幹事長職を受けさせていただきました。

2024年度からはシニアクラブの会員が会長職に就任することとなり、まずは現役の幹事長として何をやらなければならないのかを考えました。自分がこれまで経験したことから、このじゃがいもクラブで何を伝えられるのかを真剣に考えました。じゃがいもクラブでは、ただゴルフを楽しむだけでなく、プレーや食事を通じてシニア会員の諸先輩方と現役会員の交流を深める場として、多くの参加者を募り、情報交換や親睦を深めることを目標にしました。

多くの現役幹事はこれまでじゃがいもクラブにあまり参加していないメンバーでしたが、本年度を通じて、ゴルフが好きになり、先輩との交流の中で多くの学びを得ていただけるよう願っていました。また、じゃがいもクラブに参加していなかった幹事だからこそ、新たな現役メンバーを誘いやすい雰囲気を作り、同好会活動を活性化したいと考え、一年が始まりました。

実際に活動が始まると、設営面では幹事団の協力もあり、スムーズに進めることができましたが、動員面では非常に苦労しました。時間を空けることが難しい方や、今まで参加したことがないため一步を踏み出せない方もいました。しかし、初めて参加した現役会員からは「非常に楽しいゴルフだった」「先輩からゴルフだけでなくJCについても教えてもらえた」など、多くの良い意見をいただきました。じゃがいもクラブで知り合った先輩方とプライベートで交流が始まったメンバーもあり、これこそがじゃがいもクラブの良さだと改めて実感することができました。

そして、12月度例会の忘年会では、今年一年のつながりを受けて、40名を超える先輩方と現役会員が集まり、盛大に締めくくることができました。

同好会活動は、普段あまり話す機会がない先輩方と現役会員が交流を持てる貴重な機会です。この機会を最大限に活用し、つながりを広げていくことが同好会の存在意義だと感じています。ゴルフという手段を通じて、会員拡大や会員交流など、多くの成果を生み出すことができます。2025年度以降もじゃがいもクラブの活動を通じて、シニアの諸先輩方と現役会員がさらに良い交流と関係を築き、青年会議所運動の発展に繋がることを願っています。

スケジュール表

開催日	場所	内容
2月6日	いっぺい	幹事会
3月22日	三重カントリーゴルフクラブ	じゃがいもクラブ3月度
3月22日	大正館	懇親会
4月24日	四日市の里ゴルフクラブ	じゃがいもクラブ4月度
5月13日	葵カントリークラブ	日本JCじゃがいもクラブ2024年度第47回中日本地区大会
5月20日	ゴルフ5カントリー四日市コース	じゃがいもクラブ5月度
6月11日	名四カントリークラブ	じゃがいもクラブ6月度 JCI 桑名・JCI 四日市対抗戦
7月18日	四日市カントリークラブ	じゃがいもクラブ7月度
9月11日	鈴峰ゴルフ倶楽部	じゃがいもクラブ9月度
9月17日	狭山ゴルフクラブ	2024年度第76回日本JCじゃがいもクラブ全日本選手権大会
10月9日	島ヶ原カントリークラブ	三重ブロック協議会 じゃがいもクラブ秋季大会
11月12日	グレイスヒルズカントリー倶楽部	じゃがいもクラブ11月度
12月21日	菰野倶楽部ジャック・ニクラウスゴルフコース	じゃがいもクラブ12月度
12月21日	プラトンホテル四日市	忘年会

会計報告

1)収入の部

科目	金額	備考
本会計より	20,000	
合計	20,000	

2)支出の部

科目	金額	備考
日本JCじゃがいも	20,000	
合計	20,000	

3)余剰金並びに処分

科目	金額	備考
合計	0	

## 公益社団法人日本青年会議所 派遣報告

組織グループ  
JC教育推進委員会委員会  
副委員長 仲野 仁裕  
小幹事 杉本 崇  
委員 伊藤 公一

今年度、我々3名は公益社団法人日本青年会議所組織グループJC教育推進委員会に出向させていただきました。組織グループは、徹底的に各地青年会議所をサポートするという重要な役割を担っており、さらにJC教育推進委員会はJCプログラムの推進と、理念共感プロモーター育成を通じてJC理念の浸透を担わせていただきました。

JC理念とは、我々のJC活動や運動を進めていく際の根幹であり、最も大切にすべきものがあります。その中で私は、全地区協議会にて地区役員1名以上、合計250人以上のプロモーターを育成し、各地区でのJC理念の浸透率を高めるという役割を担いました。結果として、10地区13か所にてアチーブメント株式会社様と協働し、理念共感プロモーター育成セミナーを開催し、地区役員1名以上を排出、290名を超えるプロモーターの育成に寄与することができました。

「地区」と一口に言っても、地域性や特色が強く現れます。地区とブロックが同じ規模で活動している地区もあれば、地区とブロックとの関係性が希薄な地区もあります。中には、日本との関係性に疑問を抱く地区もありました。どの地区でも素直に開催に至るわけではありませんでしたが、その中で「Creed」の大切さや「Mission」「Vision」の必要性を改めて実感しました。自己満足で終わりがちなJC活動において、何のために活動しているのか、何のために運動をしているのかを深く考えさせられる一年間となりました。

最後になりますが、本年度出向の機会を与えてくださった石川理事長を始めとする一般社団法人四日市青年会議所の皆様、誠にありがとうございました。今年を経験を自身の糧とすることはもちろんですが、必ずや四日市青年会議所の成長にもつなげることを約束し、私の出向者報告とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。

## 東海地区協議会 派遣報告

経済発展委員会  
委員 伊藤 公一

2024年度、経済発展委員会の委員として東海地区協議会に出向し、地域企業の成長支援を目的とした事業に取り組む機会をいただきました。まず、この場をお借りし、出向の機会を賜りましたことに心より御礼申し上げます。

本委員会では、「東海地区で新規ビジネスモデルの協創」をテーマに掲げ、地域の企業が持続可能な経営を実現し、共創力と競争力の強化を目指しました。私自身の役割としては、事務局としてWEB会議の設営、議事録作成、会議進行を担当し、委員会活動の基盤を整えつつ、参加者やメンバーが安心して学べる環境づくりに努めました。

このプログラムを通じて、起業に踏み出せずにいる方や新しい事業モデルを模索する企業に対して、「東海地区協議会として全力で支援しました。アドバイザーには経営者や起業家、専門家が加わり、委員会の仲間とともに、参加者一人ひとりの課題に寄り添い、実現のためのサポートに努めました。その過程で、同じ志を持つ仲間と協力し、共に挑戦することの大切さを改めて実感しました。

この一年間、活動を通じて得た学びは数え切れません。特に印象的だったのは、参加者が初めての売上を達成した瞬間でした。その初歩の重みと、それを支える責任の大きさを痛感し、挑戦することの意義を深く考えさせられました。加えて、参加者たちの熱意と行動力に触れることで、私自身も初心に立ち返り、常に前進し続ける姿勢の大切さを再確認することができました。

また、参加者を支援するためのチームが委員会内で分けられていましたが、チーム内外のメンバーが支え合い、多忙な中でも協力を惜しまない姿には、青年会議所の組織力と地域への深い思いを改めて実感しました。チームやブロックを超えて多くの方々と連携し、組織全体が一丸となり、支え合いながら目標に向かって進む一体感を味わい、青年会議所の一員としての誇りがより一層高まりました。

今回の出向を通じて、大きな成長のきっかけを得ることができました。この経験を糧に、今後も地域の発展に貢献できるよう精進してまいります。改めて、支えてくださった全ての皆様に心から感謝申し上げ、出向報告とさせていただきます。

## 東海地区協議会 派遣報告

東海コンファレンス2024運営委員会  
副委員長 長尾 計享  
小幹事 藤井 浩太

本年度、公益社団法人日本青年会議所東海地区協議会の東海コンファレンス2024運営委員会に出向させていただき、ありがとうございました。このような東海地区の大きな事業に携わる貴重な機会を与えていただきました石川理事長をはじめ、四日市青年会議所メンバーの皆様は心より感謝申し上げます。

東海コンファレンス2024運営委員会では、東海地区の魅力を発信し、家族、仲間、そして地域への還元の間として開催することができました。事業実施に向けては、多くの計画議案と実務があり、大きな事業を実行するために必要な知識と経験を得ることができました。委員会メンバーを集めることや連絡を取り合う難しさも感じ、その中で互いにフォローし合いながら、1年間委員会を進めることができたと考えています。

事業実施の会場は広域で、多くのブースや出展を集めて、より多くの皆様に東海地区の魅力を発信することを目指しました。その際、各地会員会議所のメンバーと連絡を取り合い、委員会内で調整しながら準備を進めました。その中で意見の食い違いや時にはぶつかり合いもありましたが、翌日には前向きな意見を交わし合い、全員が「東海コンファレンス2024を成功させよう」という共通の目標に向かって必死に取り組んだことは、この出向の魅力の一つだと感じています。

当日は7月の猛暑日でしたが、熱中症などのトラブルもなく、多くのメンバーや地域の皆様に参加いただき、その中でたくさんの笑顔を見られたことは、非常に嬉しく思いました。また、これをきっかけに各地青年会議所メンバーとの絆が深まり、出向した2名が次のステップに進むことができたのも事実です。そして、何より事業当日に四日市青年会議所メンバーにも出展していただき、会場を盛り上げてくれたことには心から感謝しております。また、多くのメンバーが会場に足を運んでくださり、声をかけていただいたことが私たちの励みとなり、その支えがあったからこそ、事業当日を無事に終えることができました。

出向を負担に感じるメンバーもいるかもしれません。やるべきことが増え、時間やお金を使うことになり、苦労もあるでしょう。しかし、それ以上に得られるものは非常に多いと感じています。LOMを超えた出会いがあり、違った考え方を得ることで自分自身が成長できるチャンスが広がります。その魅力こそが出向にあると考えています。この1年で多くの経験と知識、そして絆を深めることができた東海コンファレンス2024運営委員会のメンバーと、背中を押し続け支え続けてくれた四日市青年会議所メンバーに、改めて感謝申し上げます。そして、出向者報告とさせていただきます。1年間、本当にありがとうございました。

## 東海地区協議会 派遣報告

財政審査特別委員会  
副委員長 早川 諒

本年度、公益社団法人日本青年会議所東海地区財政審査特別委員会への出向という大変貴重な機会をいただき、石川理事長をはじめ、四日市青年会議所の皆様に深く感謝申し上げます。財政審査特別委員会の副委員長は愛知ブロック、静岡ブロック、岐阜ブロック、三重ブロックの財政局長が担っており、横のつながりを持てる大変有意義な出向でした。

東海地区財政審査特別委員会では、副委員長として、財政審査会議前の事業議案の財務チェックを担当しました。ブロックの財政審査会議の時期と重なり、タイトなスケジュールとなることもありましたが、財務チェックの視点や会議の進め方など、ブロックで活用できる学びも多く得られました。また、各ブロックの財政局長とのつながりを深めることで、事例の共有や議案作成上の留意点を交換することができました。出向の枠組みが広がることで、出会う人々の枠も広がります。人と人とのつながりは財産であり、運動にコミットすればするほど、その絆は深まることを実感できた1年でした。

私が得た経験や感じたことは、今後LOMメンバーにしっかりと伝え、一人でも多くのメンバーが出向に興味を持ち、出向を経験できるよう働きかけていく所存です。

結びとなりますが、今後も四日市青年会議所の多くのメンバーが出向を経験し、多くの学びを得てLOMへ還元するという好循環を生み、ますます発展していくことを祈念し、出向者報告とさせていただきます。1年間、誠にありがとうございました。

## 三重ブロック協議会 派遣報告

監査担当役員  
野呂 京志

本年度、監査担当役員として三重ブロック協議会に出向させていただきました。一般社団法人桑名青年会議所の水谷会長や佐藤運営専務は、2018年のとうかい号で共に事務局の次長として活動した仲間であり、岡本監査担当役員、藤原監査担当役員は2023年の同期理事長でありました。そのような絆の深いメンバーを中心に、多くの三重ブロック協議会メンバーとご縁をいただけたことに、改めて感謝申し上げます。

私が監査担当役員を受けるにあたり意識したことは、これまで約8年間活動してきた経験を伝え、三重ブロック協議会役員団の成長をさらに促すことでした。同じLOMではないメンバーをやる気にさせ、活動に参加してもらうことはとても難しいと感じますが、それこそがLOMの枠を超えて感じることでできる貴重な経験だと思います。もちろん私も、色々な地域の運営方法や各地域で活動するメンバーの考え方などを吸収し、さらに成長できたと感じています。この経験は四日市青年会議所に持ち帰り、活かしていきたいと思っています。

日々の財政審査会議や役員会議、内部会計監査人グループによる内部監査や外部監査など、大変なこともありましたが、それぞれが今後の人生に生きる素晴らしい経験だったと思います。そして、そのような活動を通じて、三重ブロック協議会の役員として共に活動した仲間とは、一生消えることのない強い絆が生まれたと確信しています。本当に心から楽しい一年でした。これが出向の醍醐味であり、まだ出向をしていないメンバーには、このLOMの外に出て交流する楽しさや素晴らしさをぜひ味わってもらいたいと感じています。これからも様々なメンバーに、出向の醍醐味を伝えていこうと思います。

そして、共に監査をやり抜いた早川財政局長に心からの感謝を申し上げます。まだ青年会議所での経験が浅いにも関わらず、東海地区に問い合わせをしたり、過去資料を確認したりしながら、自ら議案の対応やバランスマンの入力、監査ファイルの作成などを進めてくれました。間違いなく彼は、今後の青年会議所を支える中心メンバーとなるでしょう。一緒に出向できて本当に良かったと、この文章を書きながら改めて感じています。

最後に、出向を承認してくださった石川理事長、また活動を支えていただいた全てのメンバーに心から感謝申し上げ、私の出向者報告とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。

## 三重ブロック協議会 派遣報告

未来を創る人財育成委員会

副会長 稲垣 雄介

副委員長 森山 陽介

委員 今井 香里

委員 中島 和人

本年度、公益社団法人日本青年会議所東海地区三重ブロック協議会 2024年度会長 水谷幸平君が掲げる「愛する三重のため、共に歩もう」のスローガンのもと、私たちは未来を創る人財育成委員会として3つの事業を計画・実施し、運動を展開してまいりました。

まず、三重県内各地会員会議所の正会員を対象にブロックアカデミーを開催しました。今後の青年会議所活動において、いきいきと魅力あふれる活動を展開していただくために、LOMの枠を超えた三重ブロック全体の相互理解を深め、団結力を一層高める機会となりました。

次に、三重県内の小学生を対象に、JCカップU-11少年少女サッカー三重県予選大会を開催しました。スポーツを通じて健全な青少年育成を行うとともに、勝敗に関わらず戦った相手を称える「グッドルーザー」の精神を伝え、相手を思いやる心を育む貴重な機会となりました。

また、三重県内各地会員会議所の正会員を対象に、JCI日本公認プログラム「Purpose」を開催しました。参加者は自身の目的を知り、その目的を達成するために必要な行動を考えました。そして、自分の行動が社会にどのような影響を与えるかを明確にし、自身の理念とJCの理念の共通点を見つけることで、JC活動の重要性を再認識し、青年会議所活動への意欲を高める機会となりました。

結びにあたり、石川理事長をはじめとする四日市青年会議所メンバーの皆様に深く感謝申し上げます。当委員会の四日市青年会議所メンバーの多くは初めての出向でしたが、この貴重な機会を通じて四日市青年会議所だけでは出会えなかった多くの仲間と協力して活動でき、LOMを越えた深い友情を育むことができました。また、他LOMの活動を知ることにより、新たな発想や可能性を発見することができました。

これらの経験をLOMに持ち帰り、今後の活動や自身の人生に活かしていく所存です。今後も三重県を良くしたいという熱い想いを抱いたメンバーが、三重ブロック協議会に出向し、三重県全体を盛り上げていくことを願っております。

簡単ではございますが、私たちの出向者報告とさせていただきます。一年間、ありがとうございました。

## 三重ブロック協議会 派遣報告

輝く三重創造委員会  
委員 中野 雄介

2023 年の冬、出向の話を田中専務理事予定者からいただき、「志摩開催だから行って損はない」と背中を押され、行けるときにだけでも参加してみたと促され、承諾したことを覚えています。入会して半年ほどしか経っていない私にとって、他 LOM の方々と交流する機会をいただけ、さらにその上でブロック大会と卒業式典を担当させていただき、二度とない貴重な経験をさせていただいたことに感謝しています。

出向委員会に配属され、三重ブロック協議会やブロック大会がどのような思いと考えを持って運営・設営されているのかを知ることができ、これが大きな影響と学びとなりました。自分が住んでいる三重県がどうすれば盛り上がるのか、卒業生の方々の最後の舞台をどう用意し、そこで何を伝えてもらうか、そして残るメンバーに何を継承し、今後の青年会議所活動にどう活かしていくのかを肌で感じました。これらの経験を通じて、今後の青年会議所活動に対して自信を持ち、求めていたものを得ることができたと思っています。

また、青年会議所活動において最も重要なことは、私たちが個々の集まりであるという点だと感じました。ブロック大会に向けての準備や各 LOM の例会に参加する機会があり、三重県内の LOM の活動を知ることができました。出向していなければ、四日市だけでの活動が長く続いていたと思いますが、他の LOM の様子を知ることとはひとつの大きな学びでした。委員会として事業や式典を成功させるために注力した多くの人々の姿勢や、事業式典に関わった方々、そしてお越しいただいた方々が同じ場所に集まる風景は、非常に印象的でした。それ以上に、関わった LOM メンバーとの関係が築けたことは、私にとって大きな財産です。

出向を経験したことで、参加に消極的だったり未経験のメンバーにも「委員会活動を通じて、事業や式典を成功させるためだけでなく、自分の身の振り方次第で大きな財産を得ることができる場所だ」ということを伝えたいと思います。そして、現在のメンバーはもちろん、今後入会してくるメンバーにも、このような経験が自身の財産につながることを理解してもらえよう、LOM 内でも出向の推進に努めていきたいと考えています。

出向でしか知ることができない貴重な経験があるということを伝えることは、今後出向するかどうかに関わらず、出向させていただいた者としての責務だと意識し、LOM の活動にも邁進していきたいと思います。

一年間、ありがとうございました。

## 三重ブロック協議会 派遣報告

事務局  
委員 橋本 友彦

本年度は、公益社団法人日本青年会議所東海地区三重ブロック協議会事務局に委員として出向させていただきました。事務局では主に会員会議所会議や役員会の設営を学ぶことができました。事務局の役割は事業の実施ではなく、あくまで会議の下支えをし、円滑な議事進行をサポートすることが主な学びでした。

各地の会員会議所の理事長をはじめ、多くの役員の皆さんや事務局に出向していた委員の皆さんと過ごした時間は、とても貴重で有意義なものであり、友情を育むことができました。それは大きな学びとなりました。会員会議所会議は、三重県内の各地に赴いて開催されたため、今まで訪れたことのない土地を訪れ、その土地の魅力を感じることができたことも、大きな学びでした。

普段、四日市でしか活動していない私が、四日市以外の土地の魅力を知ることができたのも、三重ブロック協議会事務局に出向させていただいたおかげです。また、出向を通して、四日市青年会議所の内側と外側から見ることができ、会議の運営方法やLOMのルール、懇親会など様々なことを学びました。

三重ブロック協議会事務局で得た経験を、四日市青年会議所の活動に活かしていきたいと思います。微力ではありますが、LOMの成長に少しでも貢献できればと思っています。1年間、三重ブロック協議会事務局長をはじめ、メンバーの皆さん、そして出向を許可していただいた石川理事長には、心から感謝しています。この1年間で得た多くの学びは、出向を通じて本当に素晴らしい経験となり、出向の価値を実感しました。

本当にありがとうございました。

## 三重ブロック協議会 派遣報告

財政局  
財政局長 早川 諒

本年度、公益社団法人日本青年会議所東海地区三重ブロック協議会財政局への出向という貴重な機会をいただき、石川理事長をはじめ四日市青年会議所の皆様に深く感謝申し上げます。兄LOMである桑名青年会議所様が三重ブロック事務局運営主幹を担う中、財政局長という責任ある立場を任せていただき、私にとって大きな学びと自信を与えてくれる経験となりました。

財政局では、三重ブロック協議会の貴重な財源を適正に活用するために、年度予算案作成をはじめ、財政審査会議で財政審査、公益審査、コンプライアンス審査を行い、各事業の公益性と財務の透明性確保に努めてまいりました。年度予算案、修正予算案の作成を通じて、三重ブロック協議会の運動が各LOMの皆様からいただく会費によって成り立っていることを改めて実感し、その負託に応える責任の重さを強く感じました。

財政審査会議は、監査担当役員、運営専務、各委員長を中心に役員会議上程前にWEBで実施しました。会議時間の短縮と意見活発化を目的に、事前質問を積極的に行うよう呼びかけ、スプレッドシートで皆が共有できるよう工夫をしました。議案作成上の疑問点や問題点を解消するために多くのマニュアルを読み、経験豊富な監査担当役員や運営専務、本会内部監査グループ、他ブロックの財政局長、東海地区財政特別委員会委員長とも相談しながら議案の精度を高めていきました。私自身、多くのことを学ばせていただきました。

財政審査会議は私にとって初めての経験であり、大変苦勞した部分も多かったと思いますが、皆が一丸となって取り組んだ結果、より良い事業の実現に向けて力を合わせることできたと感じております。また、自主監査、内部監査、外部監査がタイトなスケジュールで迫る大変な1年でしたが、無事に外部監査を終えることができ、大きな達成感を得ることができました。

この出向を通じて、私は自身の成長と、LOMを越えたつながりを得ることができました。最初は財政局長という重責に不安を感じておりましたが、今となっては一步踏み出して良かったと心から感じています。今後は、自分自身のさらなる成長を目指し、出向の機会を掴んでいくとともに、その素晴らしさをLOMメンバーへしっかりと伝えていく所存です。

結びとなりますが、今後も四日市青年会議所の多くのメンバーが出向を経験し、多くの学びを得てLOMへ還元するという好循環を生み、さらに発展していけることを祈念しまして、出向者報告とさせていただきます。1年間、ありがとうございました。

例会出席率

執 行 部					
理事長	石川 史織	100	%	96%	
直前理事長	野呂 京志	91	%		
副理事長	萩 広光	100	%		
副理事長	藤谷 竜大	83	%		
専務理事	田中 俊太朗	100	%		
監事	伊藤 尚貴	100	%		
監事	稲垣 雄介	100	%		
理 念 共 感 拡 大 委 員 会					
委員長	清水 一輝	91	%	79%	
副委員長	宮田 知	100	%		
副委員長	河本 雄次	100	%		
	後藤 亮太	66	%		
	杉谷 俊輔	58	%		
	橋本 友彦	58	%		
	樋口 裕起	58	%		
	森山 陽介	100	%		
地 域 活 性 委 員 会					
委員長	西田 真之	100	%	81%	
副委員長	仲野 仁裕	100	%		
副委員長	九鬼 和大	83	%		
	伊藤 公一	83	%		
	海老名 大樹	75	%		
	加藤 信宏	75	%		
	杉本 崇	100	%		
	早川 諒	91	%		
	藤井 浩太	50	%		
	真弓 裕也	66	%		
	今井 香里	66	%		

事 務 局					
事務局長	蛭波	敬	100	%	92%
財務委員長	田中	充彦	100	%	
渉外委員長	高茂	亮太	100	%	
事務局次長	光用	翔太郎	100	%	
	有川	朋邦	91	%	
	伊藤	佑輔	100	%	
	木村	卓也	50	%	
	長尾	計享	100	%	
	中島	和人	100	%	
	中野	雄介	91	%	
	秦	美郷	83	%	
	森川	真	退会		

新 入 会 員		
藤田 祐輝(2月承認)	退会	
森 友樹(4月承認)	100	%
チャンティエンミンフイ(6月承認)	85	%
辻 裕登(7月承認)	66	%
木田 智晴(8月承認)	40	%
萩野 一真(12月承認)	100	%
堀井 真広(12月承認)	100	%

2024年度 財産目録

2024年12月31日現在

	本会計	青少年育成 基金会計	基金特別 会計	四日市ＪＣ シニアクラブ会計	四日市ＪＣシニアクラブ 慶弔会計	ＪＣ会館建設 基金会計	70周年準備金 会計	合計
<b>I 資産の部</b>								
1.流動資産								
①現金預金								
普通預金  北伊勢上野信用金庫  本店 口座番号  1051031	1,881,870							1,881,870
普通預金  三菱東京ＵＦＪ銀行  四日市支店 口座番号  1187008	13,322							13,322
決済性預金  北伊勢上野信用金庫  本店 口座番号  1271439				36,061,015				36,061,015
決済性預金  北伊勢上野信用金庫  本店 口座番号  1072877		12,197,858						12,197,858
決済性預金  北伊勢上野信用金庫  本店 口座番号  1271413			544,821					544,821
決済性預金  北伊勢上野信用金庫  本店 口座番号  1271421						1,046,192		1,046,192
普通預金  北伊勢上野信用金庫  本店 口座番号  1352819					209,381			209,381
②現金		0						
流動資産合計	1,895,292	12,197,858	544,821	36,061,015	209,381	1,046,192	0	51,754,559
2.固定資産								
①現金預金								
決済性預金  北伊勢上野信用金庫  本店 口座番号  1400389							300,000	300,000
固定資産合計	0	0	0	0	0	0	300,000	300,000
資  産  合  計	1,895,292	12,197,858	544,821	36,061,015	209,381	1,046,192	300,000	52,054,559
<b>II 負債の部</b>								
負  債  合  計	0	0	0	0	0	0	0	0
正  味  財  産	1,895,292	12,197,858	544,821	36,061,015	209,381	1,046,192	300,000	52,054,559

2024年度貸借対照表総括表

2024年12月31日  現在

	本会計	青少年育成 基金会計	基金特別 会計	四日市ＪＣ シニアクラブ会計	四日市ＪＣシニアクラブ 慶弔会計	ＪＣ会館建設 基金会計	70周年準備金 会計	合計
<b>I 資産の部</b>								
1.流動資産								
現金預金	1,895,292	12,197,858	544,821	36,061,015	209,381	1,046,192	300,000	52,054,559
流動資産合計	1,895,292	12,197,858	544,821	36,061,015	209,381	1,046,192	300,000	52,054,559
2.固定資産								
定期預金	0						0	0
現金預金							0	0
固定資産合計	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>II 負債の部</b>								
負債合計	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>III 正味財産の部</b>								
1.一般正味財産	1,895,292	12,197,858	544,821	36,061,015	209,381	1,046,192	300,000	52,054,559
正味財産合計	1,895,292	12,197,858	544,821	36,061,015	209,381	1,046,192	300,000	52,054,559
負債及び正味財産合計	1,895,292	12,197,858	544,821	36,061,015	209,381	1,046,192	300,000	52,054,559

2024年度正味財産増減計算書総括表

自 2024年 1月 1日  
至 2024年12月31日

	本会計	青少年育成 基金会計	基金特別 会計	四日市ＪＣ シニアクラブ 会計	四日市ＪＣシ ニア会 慶弔会計	ニ 次会 建設 基金会計	70周年準備金 会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部									
1.経常増減の部									
(1)経常収益									
①受取入会金									
受取入会金	420,000								420,000
②受取会費									
受取正会員会費	4,480,000								4,480,000
受取賛助会員会費	80,000								80,000
受取新入会員会費	580,000								580,000
受取シニアクラブ会員会費				980,000					980,000
③事業収益									
事業収益									
委員会事業収益									
④受取寄付金									
受取寄付金	80,000	487,524							577,524
⑤受取負担金									
受取負担金									
⑥雑収益									
受取利息収益	405				25				430
その他雑収益	29,570	14							29,584
⑦貯蔵品分配収入									
⑧他会計からの繰入金									
本会計より繰入					0		100,000		100,000
シニア会員会計より繰入	218,000								
⑨前期事業費より繰入									
経常収益計	5,845,975	487,538	0	980,000	25	0	100,000	0	7,187,538
(2)経常費用									
①事業費									
事業費	1,871,478	885,520							2,756,998
委員会事業費									0
②管理費									0
会議費	79,800			205,300					285,100
給与手当	444,088								444,088
通信・発送費	179,799			177,748					357,545
消耗品費	182,388								182,388
印紙製本費	10,000			863,000					873,000
水道光熱費	0								0
賃借料	1,863,187								1,863,187
インフォメーション関係費	373,780								373,780
渉外費	32,600				30,450				63,050
雑費	121,780			1,100	0				122,880
③支払負担金									0
支払負担金	821,553								821,553
その他の支出	393,478								393,478
④他会計への繰入金支出									0
本会計へ繰入				218,000					218,000
青少年育成基金会計へ繰入									0
シニア会員慶弔用へ繰入	0								0
70周年準備金会計へ繰入	100,000								100,000
経常費用計	8,273,929	885,520	0	1,283,148	30,450	0	0	0	8,253,045
当期経常増減額	-427,954	-187,982	0	-303,148	-30,425	0	100,000	0	-849,507
当期一般正味財産増減額	-427,954	-187,982	0	-303,148	-30,425	0	100,000	0	-849,507
一般正味財産期首残高	2,109,924	12,385,820	544,821	38,364,161	239,308	1,046,192	200,000	0	52,890,224
一般正味財産期末残高	1,681,970	12,197,838	544,821	38,061,015	208,881	1,046,192	300,000	0	52,040,717
II 正味財産期末残高	1,681,970	12,197,838	544,821	38,061,015	208,881	1,046,192	300,000	0	52,040,717

2024年度収支計算書総括表

自 2024年 1月 1日  
至 2024年12月31日

	本会計	青少年育成 基金会計	基金特別 会計	シニアクラブ 会員会計	シニアクラブ 慶弔会計	JC会館建設 基金会計	70周年 準備金	内部取引消去	合計
<strong>I 事業活動収支の部</strong>									
1.事業活動収入									
①入会金収入									
入会金収入	420,000								420,000
②会費収入									
正会員会費収入	4,480,000								4,480,000
賛助会員会費収入	80,000								80,000
新入会員会費収入	580,000								580,000
シニア会員会費収入				960,000					960,000
③事業収入									
事業収入									
委員会事業会計収入									
④寄付金収入									
寄付金収入	80,000	487,524							567,524
⑤負担金収入									
負担金収入									
⑥雑収入									
受取利息	405	20			25				450
その他雑収入	29,570	14			500				30,084
⑦貯蔵品分配収入									
⑧他会計からの繰入金収入									
本会計より繰入							100,000		100,000
シニアクラブより繰入	216,000								216,000
事業活動収入計	5,845,975	487,558	0	960,000	525	0	100,000	0	7,404,058
2.事業活動支出									
①事業費支出									
事業費支出	1,671,476	685,520							2,356,996
委員会事業会計支出									
②管理費支出									
会議費支出	79,800			205,300					285,100
給与手当支出	444,088								444,088
通信・発送費支出	179,789			177,746					357,535
消耗品費支出									
事務消耗品費支出	126,620								126,620
備品費支出	55,748								55,748
印刷製本費支出									
基本資料作成費支出	10,000			663,000					673,000
報告書作成費支出	0			0					0
水道光熱費支出	0								0
賃借料支出	1,863,187								1,863,187
前払賃借料支出									
インフォメーション関係費支出	373,780								373,780
渉外費支出									
慶弔費支出	32,600				30,450				63,050
渉外費支出	0								0
国際渉外費支出	0								0
貯蔵品購入支出									
貯蔵品購入支出									
雑支出									
同好会費支出	90,000								90,000
雑支出	31,790			1,100	0				32,890
③負担金支出									
負担金支出	821,553								821,553
その他支出	393,478								393,478
④他会計への繰入金支出									
本会計へ繰入				216,000					216,000
青少年育成基金会計へ繰入	0								0
事業活動支出計	6,173,929	685,520	0	1,283,146	30,450	0	0	0	8,153,045
事業活動収支差額	-327,954	-187,962	0	-303,146	-29,925	0	100,000	0	-748,987
<strong>II 投資活動収支の部</strong>									
1.投資活動収入									
投資活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2.投資活動支出									
70周年準備金積立	100,000								
投資活動支出計	100,000	0	0	0	0	0	0	0	100,000
投資活動収支差額	-100,000	0	0	0	0	0	0	0	-100,000
<strong>III 財務活動収支の部</strong>									
1.財務活動収入									
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2.財務活動支出									
財務活動支出計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<strong>IV 予備費支出の部</strong>									
当期収支差額	-427,954	-187,962	0	-303,146	-29,925	0	100,000	0	-848,987
前期繰越収支差額	2,109,924	12,385,820	544,821	36,364,161	239,308	1,046,192	200,000	0	52,890,224
次期繰越収支差額	1,681,970	12,197,858	544,821	36,061,015	209,383	1,046,192	300,000	0	52,041,237

2024年度収支計算書

自 2024年 1月 1日  
至 2024年12月31日

	予算	決算	差異	備考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1.事業活動収入				
①入会金収入				
入会金収入	240,000	420,000	180,000	
②会費収入				
正会員会費収入	4,560,000	4,480,000	-80,000	
賛助会員会費収入	60,000	60,000	0	
新入会員会費収入	480,000	560,000	80,000	
シニア会員会費収入	960,000	960,000	0	
登録料収入	0	0	0	
③事業収入				
事業収入	0	0	0	
委員会事業会計収入	0	0	0	
④寄付金収入				
寄付金収入	574,100	577,524	3,424	サルビア積立活動、卒業生寄付
⑤負担金収入				
負担金収入	0	0	0	
⑥雑収入				
受取利息	2,000	450	-1,550	
その他雑収入	0	30,070	30,070	ダイナースカード還付金
⑦貯蔵品分配収入	0	0	0	
⑧他会計からの繰入金収入				
シニア会員会計より繰入	0	216,000	216,000	
本会計より繰入	100,000	100,000	0	70周年準備金口座へ
⑨前期委員会事業費より繰入	0	0	0	
事業活動収入計	6,976,100	7,404,044	427,944	
2.事業活動支出				
①事業費支出				
事業費支出	2,119,200	2,356,996	237,796	※1支出明細書1
委員会事業会計支出	0	0	0	
②管理費支出				
会議費支出	80,900	79,800	-1,100	※2支出明細書1

委員会事業会計支出	0	0	0	
②管理費支出				
会議費支出	80,900	79,800	-1,100	※2支出明細書1
会議費支出（シニアクラブ分）	0	205,300	205,300	
給与手当支出	530,000	444,098	-85,902	
通信・発送費支出	210,000	179,799	-30,201	
通信・発送費支出（シニアクラブ分）	200,000	177,748	-22,254	
消耗品費支出				
事務消耗品費支出	60,000	126,620	66,620	
備品費支出	30,000	55,748	25,748	
印刷製本費支出				
基本資料作成費支出	10,000	10,000	0	
基本資料作成費支出（シニアクラブ分）	655,350	663,000	7,650	
報告書作成費支出	0	0	0	
報告書作成費支出（シニアクラブ分）	100,000	0	-100,000	
水道光熱費支出	54,000	0	-54,000	
賃借料支出				
賃借料支出	1,584,000	1,863,187	279,187	
インフォメーション関係費支出	366,580	373,780	7,200	
渉外費支出				
慶弔費支出	70,000	32,600	-37,400	
慶弔費支出（シニアクラブ会員分）	0	30,450	30,450	
渉外費	50,000	0	-50,000	
国際渉外費支出	150,000	0	-150,000	
貯蔵品購入支出				
貯蔵品購入支出	0	0	0	
雑支出				
同好会費支出	90,000	90,000	0	※3支出明細書1
雑支出	70,000	31,790	-38,210	
雑支出（シニアクラブ会員分）	0	1,100		
③負担金支出				
負担金支出	833,318	821,553	-11,765	※4支出明細書1
負担金支出（JQシニアクラブ会員分）	0	0	0	
その他支出	412,200	393,478	-18,722	※5支出明細書1
④他会計への繰入金支出				
本会計へ繰入	0	216,000	216,000	
シニア慶弔会計へ繰入	0	0	0	

⑤予備費	0	0	0	
事業活動支出計	7,675,548	8,153,045	477,497	
事業活動収支差額	-699,448	-749,001	-49,553	
<b>Ⅱ 投資活動収支の部</b>				
1.投資活動収入				
投資活動収入計	0	0		
2.投資活動支出				
70周年事業積立	0	100,000	100,000	
投資活動支出計	0	100,000		
投資活動収支差額	0	-100,000	-100,000	
<b>Ⅲ 財務活動収支の部</b>				
1.財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2.財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
<b>Ⅳ 予備費支出の部</b>				
当期収支差額	-699,448	-849,001	-149,553	
前期繰越収支差額	52,890,224	52,890,224	0	
次期繰越収支差額	52,190,776	52,041,223	-149,553	

※1【事業費支出明細書】

科目	①予算	②総事業費	③本会計負担金	④差異(③－①)	登録料等収入
理念共感拡大委員会	613,200	573,486	573,486	-39,714	0
地域活性委員会	442,000	236,300	236,300	-205,700	0
サルビア基金交付事業	400,000	685,520	0	-400,000	0
サルビア基金積立事業	0	0	0	0	0
事務局	648,000	640,538	640,538	-7,462	0
未来創造特別会議	16,000	15,400	15,400	-600	
公開討論会	0	205,752	205,752	205,752	0
合計	2,119,200	2,356,996	1,671,476	-447,724	0

※2【会合費支出明細書】

科目	予算	決算	差異	備考
総会会場費	80,900	79,800	-1,100	
総会会場費（シニアクラブ分）	0	205,300	205,300	
理事会会場費	0	0	0	
合計	80,900	285,100	204,200	

※3【同好会費支出明細書】

科目	予算	決算	差異	備考
太鼓チーム	50,000	50,000	0	
野球クラブ	20,000	20,000	0	
じゃがいもクラブ	20,000	20,000	0	
合計	90,000	90,000	0	

※4【負担金支出明細書】

科目	予算	決算	差異	備考
日本JCI会費	220,000	220,000	0	5000円×38名 基本会費額30000円
日本JCI新入会費	70,000	40,455	-29,545	新入会員5名
JCI会費	84,968	84,968	0	2236円×38名
国際協力資金	69,350	69,350	0	1825円×38名
京都会議会費	8,000	8,000	0	
東海地区協議会費	95,000	102,500	7,500	追加分2500円×3
三重ブロック協議会会費	133,000	143,500	10,500	追加分3500円×3
三重ブロック会員大会負担金	76,000	76,000	0	
商工会議所会費	14,000	14,000	0	
海洋少年団育成費	50,000	50,000	0	
四日市市青少年育成市民会議会費	2,000	2,000	0	
大四日市まつり協賛金	5,000	5,000	0	
社会福祉協議会会費	6,000	5,780	-220	
四日市ハーフマラソン協賛金（JCSニアクラブ会員分）	0	0	0	
合計	833,318	821,553	-11,765	

※5【その他支出支出明細書】

科目	予算	決算	差異	備考
JCIピンバッジ	45,000	15,900	-29,100	3300円×5個
ネームプレート	34,000	17,840	-16,160	1700円×7個 送料330円×6
WE BELIEVE	144,000	121,500	-22,500	3000円×38名 追加5名
記念品	53,200	97,714	44,514	卒業記念品8個 階出席記念品17名
職員健康診断	0	0	0	
労働保険料	0	0	0	
日本JC出向LOM負担金	60,000	60,150	150	20000円×3 手数料150円
登記費用	51,000	50,000	-1,000	
法市民税	25,000	25,000	0	
所得税	0	5,374	5,374	
合計	412,200	393,478	-18,722	

【事務関係費明細書】

科目	予算	決算	差異	備考
給与	530,000	444,098	-85,902	2023年12月分から計算
通信・発送費	210,000	179,799	-30,201	基本資料発送費・CTY・ZOOM使用料・年賀状
通信・発送費（シニアクラブ分）	200,000	177,746	-22,254	
事務室賃借料	1,584,000	1,883,187	279,187	
事務室水道光熱費	54,000	0	-54,000	賃借料に含まれる
事務消耗品費	60,000	128,620	68,620	
基本資料作成費	10,000	10,000	0	データスキャン代
基本資料作成費（シニアクラブ分）	655,350	663,000	7,650	
報告書作成費	0	0	0	
報告書作成費（シニアクラブ分）	100,000	0	-100,000	メール送信のため費用不要
インフォメーション関係費	366,580	373,780	7,200	
備品費	30,000	55,748	25,748	スローガン旗・ゴム印・プレート申紙
慶弔費	70,000	32,600	-37,400	出産祝い2名 香典2名 花代1名
慶弔費（シニアクラブ分）	0	30,450	30,450	
渉外費	50,000	0	-50,000	
国際渉外費	150,000	0	-150,000	
雑費	70,000	31,790	-38,210	振込手数料
雑費（シニアクラブ分）	0	1,100	1,100	振込手数料
雑費（シニアクラブ慶弔費分）	0	0	0	
合計	4,139,930	3,989,918	-150,012	

※5【その他支出支出明細書】

科目	予算	決算	差異	備考
JCIピンバッジ	45,000	9,900	-35,100	\$300円×\$個
ネームプレート	34,000	13,450	-20,550	1700円×\$個 送料990円×\$
WE BELIEVE	144,000	121,500	-22,500	\$000円×\$8名 追加\$名
記念品	53,200	80,000	26,800	卒業記念品\$8個 障出席記念品
職員健康診断	0	0	0	
労働保険料	0	0	0	
日本JC出向LOM負担金	60,000	60,150	150	20000円×\$ 手数料150円
登記費用	51,000	50,000	-1,000	
法市民税	25,000	25,000	0	
所得税	0	5,374	5,374	
合計	412,200	365,374	-46,826	

入会・休会・退会者

【入会】	藤田	祐輝		2月	2日
	森	友樹		4月	4日
	チャン	ティエンミンフイ		6月	4日
	辻	裕登		7月	4日
	木田	智晴		7月	30日
	萩野	一真		12月	11日
	堀井	真広		12月	11日
【休会】	海老名	大樹	3月	5日	～ 11月30日
【退会】	森川	真			
	藤田	祐輝			

## 卒業生

石川史織  
田中充彦

伊藤尚貴  
樋口裕起

今井香里  
光用翔太郎

河本雄次  
宮田知

## シニアクラブ会員

岡田卓也  
林悦夫  
村山喜一  
服部幸男  
山路恭三  
桑内蕃  
鈴木正勝  
月野光政  
堀木紀徳  
本山正城  
北岡泰爾  
小林宏祐  
石井文彦  
豊田衛  
安藤信行  
小川硬一郎  
生川平藏  
仲野弥和  
阿竹一之  
小林一成  
鈴木康之  
岡本和康  
木村哲美  
滝本永次郎  
市川保郎  
伊藤道郎  
野呂知生  
矢野正剛

水谷春三  
別所幸蔵  
松嶋英男  
宮嶋邦彦  
石津英尚  
佐治英三  
野沢尚高  
大久保尚一  
永田正巳  
村木敏雄  
中村公一  
中島泰浩  
熊野孝幸  
萩野賢司  
青山學  
栗原正明  
山下久三  
三輪和豊  
加藤隆俊  
田村博志  
三平一良  
清水常雄  
古市利光  
清水良  
大山吉久  
前岨裕三  
三田高司  
関恒美

伊藤武夫  
島田豊  
山本登  
中嶋昇  
小林昂司  
和田山恵三  
高井良司  
伊藤英二  
伊藤洋和  
田中公一  
伊藤昌男  
村川賢一郎  
生川鐵雄  
東川強  
米山茂  
篠宮義和  
鈴木幹雄  
早川廣  
伊藤和彦  
宮崎由至  
塚松博文  
伊藤隆  
森川道博  
光用敬一  
大橋正行  
坂照明  
上田末広  
伊藤正衛

中嶋正  
豊田良郎  
平野太七  
永井啓武  
高橋一三  
内田優  
森勝幸  
山手幹郎  
渡辺久和  
伊藤輝文  
伊藤勘作  
今村良隆  
水谷俊二  
千賀範昭  
竹内裕  
西野光之  
中島和弘  
加藤幾恒  
竹内稔  
木下弘  
長谷川芳之  
伊藤一美  
太田恒久  
平田耕一  
牧野一己  
服部富男  
渡辺八尋  
高橋良太

前川克典	田中眞禪	杉本雅俊	山路和良
宇野正敏	森崎田秀誠二	川村武俊洋	鈴木順俊男
西正敏	澤田中克宜	齋木部俊郎	堀木野年嗣
井手広行	田中邦洋	真田文雄	中市林史雄
小田泰宣	田中俊行	川村美治	市川口龍次
吉田博司	飯嶋清衛	山本行恭	谷口藤康二郎
神井清幸	内田嘉志郎	南川功正	伊森本恵幸
浅野克士	鈴木明宏	渡邊正直登	岡田谷新也
鈴木歩司	小林正史郎	大矢知武治	三野正明彦
山本晋彦	浅岡佳典	小川典明	中澤栄次
森川彰	宮田清士	古谷川孝	伊木川勝示
藤岡傳美	陣川直之	鈴木茂仁	市藤伸一郎
細谷浩信	長谷川裕吉	山田幸範	後山路熟平
大中良男	渡辺順昌	廣田隆俊也	廣瀬山弘尚
梅田秀夫	伊藤邦男	小川真英	青森弘豐
伊藤文宏	松山樹宏	稲垣恵秋	寺田正喜
北田稔	清水研志	渡辺佳央	矢鈴木宅康夫
石藤寿洋	伊藤志本稔	今森公平	三西岡宏
佐林敏孝	和田山久司	五味昌俊	石垣田和宏
小黒藤俊文	堀江恵介	伊藤塚永二	黒伊藤牧正浩
森下育直	水谷勝也	田中俊德	阪倉光弘
小豊田晃弘	萩文三男	杉本利光	伊藤勝教
奥山成義	中野幸暢	山本部浩	佐藤崎哲治
大森弘明	杉本成彦	高橋博也	岩坂口誠
伊谷慎志	新渡辺誠人	樋川恭範	長谷川雅人
増田靖治	木村高弘	前山路政毅	藤原晶久
鈴谷久幸	林典信	難波保雅	萩野昌毅
竹中幸一	柳川信裕		

伊堤寺松野萩小佐西岡奥上荒田西山小伊小伊南土松矢中山西舟近中萩樋岩北中小水伊	藤淑本岡村原野瀧田野岡野岡木村本藤川部田林下口藤川野尾井岡村川藤	靖明匡伸幸宏武貴光良真治泰裕陽伊千勝一浩義繁勝朋五知義順健重隆賢吉晃周彰	則宏年廣林士信夫太一生次也一仁秋美隆実幸人敬久大克則幸二愛樹幸均範司	清水瀨川木崎藤野山路山賀智岡松前説益大山伊谷稲村伊大橋飯向山佐塚佐々田福津田大石	大勝貴直隆省昌恭昌靖洋宏弘光有篤誠悟吉和昭雄達浩将健久修賢松木中村田中久岡	喜也子生弘吾和司人朗高一恒夫人弘輝義哉次臣作夫修一大薫慎康正秀直裕	豐萩矢杉服高伊岡阪若西中西児伊久佐西長森吉石勝平小市服小佐渡服西森脇安木若樋	田原野本部野藤本元林原川岡玉東留美藤林谷由原井田林川部松藤邊部原尚田藤村林口	政正克雅好泰裕浩圭弘朋康朋光學美秀直起智卓敦裕勇哲寿將聡貴昭泰輝辰龍	典彦尚照美宏司延介樹宏洋晃晃樹治裕子志光也久也隆史也哉充子明也秀也馬	早堀加山波今水小伊高菊宇嶋水北仲吉中伊服樋伊竹江山保伊岡藤芳石佐大山熊宮堀金	川内藤崎田井野林藤森池佐田谷岡井富村藤部口藤内間本位藤本村野脇住田野崎木龍	昌孝万博武利三正洋裕雄義吉克太誠直隆正晃裕章理寿敬真克淳貴正大智顯菜光由博植	彦二明樹昌弥幸介式一秀之輔民也宏人典貴史明吾弥貴英輔成成々洋太貴
--	----------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------	--	---------------------------------------	-----------------------------------	--	--	------------------------------------	------------------------------------	--	---------------------------------------	--	----------------------------------

森 寺 奉 仁  
川 崎 嘉 大  
笠 原 幸 枝  
多 田 隼 人  
石 橋 朋 和  
橋 本 和 幸  
橋 本 真 宏  
大 佛 康 二  
森 谷 貢  
西川(高木)友絵  
大 谷 常 雄  
清 水 良 保  
生 川 雄 規  
藤 原 雄 太朗  
伊 藤 勝 利  
平 野 貴 之  
太 田 匡 彦  
平 松 大 輔  
矢 野 陽 一  
中 山 淳 二

伊 藤 元 英  
渡 辺 大 雄  
内 山 武 将  
岡 村 善 成  
森 智 広 規  
松 本 康 介  
江 川 稔 司  
里 中 祐 司  
岡 田 圭 新  
赤 塚 理 豪  
喜 納 浩 介  
鈴 木 晴 義  
西 川 晴 輝  
山 路 幸 士  
伊 藤 将 樹  
福 村 和 輔  
大 谷 健 久  
古 川 泰 子  
後 藤 純 良  
藤 岡 良 輔

深 水 陽 介  
矢 田 武 賜  
中 澤 義 一  
阿 竹 一 仁  
竹 内 俊 介  
光 本 尚 貴  
前 田 大 輔  
萩 村 健  
江 間 卓 也  
佐 野 貴 代  
式 井 一 博  
田 村 尚 也  
西 田 太 郎  
山 中 明 善  
徐 正 和  
山 路 雄 一朗  
春 日 孝 夫  
川 口 真 輝  
刑 部 聖 士  
筒 井 淳 士

川 北 篤 夫  
大 西 岳 臣  
見 取 貴 輔  
加 納 大 壽 德  
有 吉 輔  
坂 大 輔  
柳 川 曜 一朗  
平 田 富 太郎  
丹 羽 昌 邦  
伊 藤 恵  
洪 谷 文 昭  
鉛 山 龍 登  
橋 本 剛  
泉 晃 多  
西 尾 信 太郎  
伊 藤 祐 一  
辻 中 秀 明  
國安院 ゆみ  
芥 川 聡  
平 井 敦

以下の通り報告いたします。 2025年01月03日

理事長			石川 史織
直前理事長			野呂 京志
副理事長			萩 広光
副理事長			藤谷 竜大
専務理事			田中 俊太郎
監事			伊藤 尚貴
監事			稲垣 雄介
理事	理念共感拡大委員会	委員長	清水 一輝
理事	理念共感拡大委員会	副委員長	宮田 知
理事	理念共感拡大委員会	副委員長	河本 雄次
理事	地域活性委員会	委員長	西田 真之
理事	地域活性委員会	副委員長	仲野 仁裕
理事	地域活性委員会	副委員長	九鬼 和大
理事	事務局	事務局長	蛭波 敬
理事	事務局	財務委員長	田中 充彦
理事	事務局	渉外委員長	高茂 亮太
理事	事務局	事務局次長	光用 翔太郎

以上の通り相違ありません。

監 事	伊藤 尚貴
監 事	稲垣 雄介